

(様式第 10)

口大医総第 167 号
令和 2 年 10 月 5 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人山口大学長
岡 正 郎

山口大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和元年度の業務に関して報告します。
記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒753-8511 山口県山口市吉田1677-1
氏 名	国立大学法人 山口大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

山口大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒755-8505 山口県宇部市南小串 1 - 1 - 1 電話 (0836) 22-2111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有 ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
①呼吸器内科	②消化器内科
③循環器内科	4腎臓内科
5神経内科	6血液内科
7内分泌内科	8代謝内科
9感染症内科	⑩アレルギー疾患内科またはアレルギー科
⑪リウマチ科	
診療実績	
神経内科については、脳神経内科にて提供している	

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

27 外科				有		無	
外科と組み合わせた診療科名							
①呼吸器外科		②消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科	
5血管外科		⑥心臓血管外科		7内分泌外科		⑧小児外科	
診療実績							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	⑦産婦人科
8産科	9婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有	無
歯科と組み合わせた診療科名		
1小児歯科	2矯正歯科	③歯科口腔外科
歯科の診療体制		
本院は、歯科医師を有する特定機能病院である。		

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1心療内科	2臨床検査科	3病理診断科	4リハビリテーション科	5形成外科	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
43床	0床	0床	0床	713床	756床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	221人	240人	379.68人	看護補助者	50人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	5人	13人	14.96人	理学療法士	17人	臨床検査技師	68人
薬 剤 師	52人	0人	52人	作業療法士	7人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	6人	その他	0人
助 産 師	31人	0人	31人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	786人	24人	802.32人	臨床工学士	18人	医療社会事業従事者	8人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	12人	その他の技術員	27人
歯科衛生士	1人	2人	2.54人	歯 科 技 工 士	1人	事 務 職 員	218人
管理栄養士	15人	0人	15人	診療放射線技師	44人	その他の職員	63人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	44人	眼 科 専 門 医	15人
外 科 専 門 医	39人	耳鼻咽喉科専門医	14人
精 神 科 専 門 医	8人	放射線科専門医	5人
小 児 科 専 門 医	22人	脳神経外科専門医	10人
皮 膚 科 専 門 医	4人	整形外科専門医	11人
泌尿器科専門医	9人	麻 酔 科 専 門 医	17人
産婦人科専門医	11人	救 急 科 専 門 医	10人
		合 計	219人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (杉野 法広) 任命年月日 平成 29 年 4 月 1 日

医療の質・安全管理委員会委員 (平成 19 年 4 月 1 日～現在)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	584.6人	14.0人	597.0人
1日当たり平均外来患者数	1,293.9人	80.6人	1,374.5人
1日当たり平均調剤数			2308 剤
必要医師数			138人
必要歯科医師数			6人
必要薬剤師数			29人
必要（准）看護師数			345人

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数（毎日の24時現在の在院患者数の合計）を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備	概 要
集中治療室	353.9m ²	鉄筋鉄骨 コンクリート	病 床 数	16床
			人工呼吸装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	239.4m ²	
	[移動式の場合]	台 数	11台	
医 薬 品 情報管理室	[専用室の場合]	床 積	47m ²	
	[共用室の場合]	共用する室名		
化学検査室	435.6m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学血液検分析装置及びライン	
細菌検査室	87m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 安全キャビネット、オートクレーブ、細菌同定感受性装置	
病理検査室	446m ²	鉄筋鉄骨 コンクリート	(主な設備) 卓上フード型局所排気装置、自動包埋装置、自動染色装置	
病理解剖室	479m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 剖検台、写真撮影装置、煮沸滅菌器	
研 究 室	11,203m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 光トポグラフィ装置、遺伝子発現解析システム	
講 義 室	2,439m ²	鉄筋コンクリート	室数	12室
図 書 室	568m ²	鉄筋コンクリート	収容定員	1,642人
			蔵 書 数	16万冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	92.0%	逆紹介率	80.4%
算出根拠	A：紹介患者の数		11,760人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		11,356人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		1,240人
	D：初診の患者の数		14,134人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
河村 康明	山口県医師会	○	医療に係る安全管理に関する専門的知識を有するため	有・無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
大田 明登	大田明登法律事務所		法律に関する識見を有するため	有・無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
玉田 英生	宇部興産株式会社		医療を受ける者の代表者	有・無	2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法 大学ウェブページに委員名簿及び選定理由を掲載	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
角膜ジストロフィーの遺伝子解析	4人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	7人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変に対する自己骨髄細胞投与療法 C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変(Child-Pugh分類による点数が七点以上のものであって、従来の治療法(肝移植術の除く。)ではその治療に係る効果が認められないものに限る。)	0人
水素ガス吸入療法 心停止後症候群(院外における心停止後に院外又は救急外来において自己心拍が再開し、かつ、心原性心停止が推定されるものに限る。)	4人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	3	56	ベーチェット病	39
2	筋萎縮性側索硬化症	30	57	特発性拡張型心筋症	26
3	脊髄性筋萎縮症	2	58	肥大型心筋症	5
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	1
5	進行性核上性麻痺	4	60	再生不良性貧血	15
6	パーキンソン病	143	61	自己免疫性溶血性貧血	1
7	大脳皮質基底核変性症	5	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0
8	ハンチントン病	0	63	特発性血小板減少性紫斑病	31
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
10	シャルコー・マリー・トゥース病	3	65	原発性免疫不全症候群	4
11	重症筋無力症	65	66	IgA 腎症	16
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	7
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	84	68	黄色靱帯骨化症	29
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	44	69	後縦靱帯骨化症	138
15	封入体筋炎	3	70	広範脊柱管狭窄症	10
16	クロー・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	31
17	多系統萎縮症	3	72	下垂体性ADH分泌異常症	0
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	31	73	下垂体性TSH分泌亢進症	1
19	ライソゾーム病	0	74	下垂体性PRL分泌亢進症	5
20	副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	2
21	ミトコンドリア病	5	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1
22	もやもや病	54	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	13
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	42
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	1	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	4
27	特発性基底核石灰化症	1	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	3	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	71
30	遠位型ミオパチー	1	85	特発性間質性肺炎	16
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	11
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	3
34	神経線維腫症	18	89	リンパ脈管筋腫症	2
35	天疱瘡	15	90	網膜色素変性症	19
36	表皮水疱症	0	91	バッド・キアリ症候群	1
37	膿疱性乾癬(汎発型)	6	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93	原発性胆汁性肝硬変	45
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	3
40	高安静脈炎	16	95	自己免疫性肝炎	12
41	巨細胞性動脈炎	0	96	クローン病	100
42	結節性多発動脈炎	6	97	潰瘍性大腸炎	157
43	顕微鏡的多発血管炎	21	98	好酸球性消化管疾患	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	11	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	1
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	5	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	12	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャール病	16	102	ルビンシュタイン・ティビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	0	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	130	104	コストロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	66	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	60	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
52	混合性結合組織病	19	107	若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	17	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	2	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	0	110	ブラウ症候群	0

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
111 先天性ミオパチー	1	161 家族性良性慢性天疱瘡	0
112 マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162 類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	2
113 筋ジストロフィー	7	163 特発性後天性全身性無汗症	0
114 非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164 眼皮膚白皮症	0
115 遺伝性周期性四肢麻痺	0	165 肥厚性皮膚骨膜炎	0
116 アトピー性脊髄炎	1	166 弾性線維性仮性黄色腫	0
117 脊髄空洞症	1	167 マルフアン症候群	2
118 脊髄髄膜瘤	0	168 エーラス・ダンロス症候群	0
119 アイザックス症候群	1	169 メンケス病	0
120 遺伝性ジストニア	0	170 オクシビタル・ホーン症候群	0
121 神経フェリチン症	0	171 ウィルソン病	0
122 脳表ヘモジデリン沈着症	0	172 低ホスファターゼ症	0
123 禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173 VATER症候群	1
124 皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174 那須・ハコラ病	0
125 神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175 ウィーバー症候群	0
126 ペリー症候群	0	176 コフィン・ローリー症候群	0
127 前頭側頭葉変性症	0	177 ジュベール症候群関連疾患	0
128 ビッカーズスタッフ脳幹脳炎	0	178 モワット・ウィルソン症候群	0
129 痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179 ウィリアムズ症候群	0
130 先天性無痛無汗症	0	180 ATR-X症候群	0
131 アレキサンダー病	0	181 クルーゾン症候群	0
132 先天性核上性球麻痺	0	182 アペール症候群	0
133 メビウス症候群	0	183 ファイファー症候群	0
134 中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184 アントレー・ピクスラー症候群	0
135 アイカルティ症候群	0	185 コフィン・シリス症候群	0
136 片側巨脳症	0	186 ロスムンド・トムソン症候群	0
137 限局性皮質異形成	0	187 歌舞伎症候群	0
138 神経細胞移動異常症	0	188 多脾症候群	0
139 先天性大脳白質形成不全症	0	189 無脾症候群	0
140 ドラベ症候群	0	190 鰓耳腎症候群	0
141 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191 ウェルナー症候群	0
142 ミオクロニー欠神てんかん	0	192 コケイン症候群	0
143 ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193 プラダー・ウィリ症候群	0
144 レノックス・ガストー症候群	0	194 ソス症候群	0
145 ウエスト症候群	0	195 ヌーナン症候群	0
146 大田原症候群	0	196 ヤング・シンプソン症候群	0
147 早期ミオクロニー脳症	0	197 1p36欠失症候群	0
148 遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198 4p欠失症候群	0
149 片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199 5p欠失症候群	0
150 環状20番染色体症候群	0	200 第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151 ラスムッセン脳炎	0	201 アンジェルマン症候群	0
152 PCDH19関連症候群	0	202 スミス・マギニス症候群	0
153 難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203 22q11.2欠失症候群	0
154 徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204 エマヌエル症候群	0
155 ランドウ・クレフナー症候群	0	205 脆弱X症候群関連疾患	0
156 レット症候群	0	206 脆弱X症候群	0
157 スタージ・ウェーバー症候群	0	207 総動脈幹遺残症	0
158 結節性硬化症	0	208 修正大血管転位症	1
159 色素性乾皮症	0	209 完全大血管転位症	0
160 先天性魚鱗癬	0	210 単心室症	0

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	1
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイトミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	1
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	3	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	9	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	3
224	紫斑病性腎炎	1	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	3
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クローンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸型)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	4
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	1
254	ボルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトースー1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	23

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
307 カナバン病	0	321 非ケトーシス型高グリシン血症	0
308 進行性白質脳症	0	322 β -ケトチオラーゼ欠損症	0
309 進行性ミオクロノスアテンカン	0	323 芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
310 先天異常症候群	0	324 メチルグルタコン酸尿症	0
311 先天性三尖弁狭窄症	0	325 遺伝性自己炎症疾患	0
312 先天性僧帽弁狭窄症	0	326 大理石骨病	0
313 先天性肺静脈狭窄症	0	327 特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
314 左肺動脈右肺動脈起始症	0	328 前眼部形成異常	0
315 ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	329 無虹彩症	0
316 カルニチン回路異常症	0	330 先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	0
317 三頭酵素欠損症	0	331 特発性多中心性キャスルマン病	0
318 シトリン欠損症	0	332 膠様滴状角膜ジストロフィー	0
319 セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0	333 ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
320 先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0		

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・データ提出加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・入退院支援加算
・特定機能病院入院基本料	・入院時支援加算
・救急医療管理加算	・精神疾患診療体制加算
・超急性期脳卒中加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・診療録管理体制加算2	・精神科急性期医師配置加算
・医師事務作業補助体制加算1	・救命救急入院料4
・急性期看護補助体制加算	・特定集中治療室管理料2
・看護職員夜間配置加算	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・看護補助加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・療養環境加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・重症者等療養環境特別加算	・小児入院医療管理料2
・無菌治療室管理加算1	・
・無菌治療室管理加算2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・後発医薬品使用体制加算1	・
・病棟薬剤業務実施加算1	・
・病棟薬剤業務実施加算2	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
・ウイルス疾患指導料	・遺伝学的検査
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	・骨髓微小残存病変量測定
・がん性疼痛緩和指導管理料	・BRCA1/2遺伝子検査
・がん患者指導管理料イ	・がんゲノムプロファイリング検査
・がん患者指導管理料ロ	・角膜ジストロフィー遺伝子検査
・がん患者指導管理料二	・先天性代謝異常症検査
・外来緩和ケア管理料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
・糖尿病透析予防指導管理料	・検体検査管理加算(IV)
・小児運動器疾患指導管理料	・国際標準検査管理加算
・乳腺炎重症化予防・ケア指導料	・遺伝カウンセリング加算
・婦人科特定疾患治療管理料	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
・腎代替療法指導管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・外来放射線照射診療料	・胎児心エコー法
・がん治療連携計画策定料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・肝炎インターフェロン治療計画料	・ヘッドアップティルト試験
・ハイリスク妊産婦連携指導料	・人工臓器検査、人工臓器療法
・薬剤管理指導料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・単線維筋電図
・医療機器安全管理料1	・光トポグラフィー
・医療機器安全管理料2	・神経学的検査
・医療機器安全管理料(歯科)	・補聴器適合検査
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・全視野精密網膜電図
・総合医療管理加算、歯科治療時医療管理料	・ロービジョン検査判断料

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・コンタクトレンズ検査料1	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1
・小児食物アレルギー負荷検査	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1
・内服・点滴誘発試験	・硬膜外自家血注入
・CT透視下気管支鏡検査加算	・エタノールの局所注入(甲状腺)
・画像診断管理加算2	・エタノールの局所注入(副甲状腺)
・CT撮影及びMRI撮影	・人工腎臓
・冠動脈CT撮影加算	・導入期加算2及び腎代替療法実績加算
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・外傷全身CT加算	・磁気による膀胱等刺激法
・心臓MRI撮影加算	・CAD/CAM冠
・乳房MRI撮影加算	・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2
・小児鎮静下MRI撮影加算	・センチネルリンパ節加算
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算
・外来化学療法加算1	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・無菌製剤処理科	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・椎間板内酵素注入療法
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・腫瘍脊椎骨全摘術
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・がん患者リハビリテーション料	・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(過活動膀胱)
・歯科口腔リハビリテーション料2	・角膜移植術(内皮移植加算)
・経頭蓋磁気刺激療法	・羊膜移植術
・精神科作業療法	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・医療保護入院等診療料	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1	・網膜再建術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・人工中耳植込術	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・腹腔鏡下肝切除術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・生体部分肝移植術
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・同種死体腎移植術
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・生体腎移植術
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除及び肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・膀胱水圧拡張術
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・人工尿道括約筋植込・置換術
・胸腔鏡下弁形成術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・経カテーテル大動脈弁置換術	・腹腔鏡下仙骨腫固定術
・胸腔鏡下弁置換術	・腹腔鏡下仙骨腫固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経皮的中隔心筋焼灼術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	・胎児輸血術
・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1
・補助人工心臓	・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術に限る。)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・輸血管理料Ⅰ	
・コーディネート体制充実加算	
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	
・歯周組織再生誘導手術	
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	
・麻酔管理料(Ⅰ)	
・麻酔管理料(Ⅱ)	
・放射線治療専任加算	
・外来放射線治療加算	
・高エネルギー放射線治療	
・1回線量増加加算	
・強度変調放射線治療(IMRT)	
・画像誘導放射線治療(IGRT)	
・体外照射呼吸性移動対策加算	
・定位放射線治療	
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	
・画像誘導密封小線源治療加算	
・病理診断管理加算1	
・悪性腫瘍病理組織標本加算	
・口腔病理診断管理加算1	
・クラウン・ブリッジ維持管理料	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・骨髄微小残存病変量測定	・
・角膜ジストロフィー遺伝子検査	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	9 回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 15 例 / 剖検率 8.1 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
がん認識抗体と遺伝子導入T細胞による難治性B細胞性悪性リンパ腫を対象とした第1相医師主導臨床試験(革新的がん医療実用化研究事業)	玉田 耕治	免疫学講座	158,600,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
局所脳冷却による脳神経保護装置の開発	鈴木 倫保	脳神経外科学講座	42,806,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
固形がんに対するIL-7/CCL19産生型CAR-T細胞療法の研究開発	玉田 耕治	免疫学講座	39,000,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
抗疲労効果の判定における酸化ストレスからの検証	野島 順三	基礎検査学講座	4,550,000	補 委 国立研究開発法人 理化学研究所
遺伝子スクリーニング基盤(LC-SCRUM-Japan)を利用した、MET遺伝子異常陽性の進行非小細胞肺癌に対する治療開発を目指した研究	下川 元継	基礎検査学講座	3,250,000	補 委 国立研究開発法人 国立がん研究センター
疾患モデル高度化による視床下部・下垂体難病研究	谷澤 幸生	病態制御内科学講座	3,000,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
眼科硝子体手術普及のための眼内視鏡保持ロボット開発	木村 和博	眼科学講座	1,000,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
遺伝子組み換え細胞治療開発における臨床試験体制にかかわる研究(29-A-7)	玉田 耕治	免疫学講座	1,000,000	補 委 国立研究開発法人 国立がん研究センター
乳児アトピー性皮膚炎への早期介入と経口免疫寛容誘導によるアレルギーマーチへの影響を探索する前向きコホート研究	長谷川 俊史	小児科学講座	390,000	補 委 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター
経皮感作対策による食物アレルギー発症予防研究	長谷川 俊史	小児科学講座	390,000	補 委 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	谷澤 幸生	病態制御内科学講座	300,000	補 委 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
フェノタイプ・エンドタイプに着目した本邦の喘息患者における3年間予後の検討	松山 豪泰	泌尿器科学講座	59,220	補 委 独立行政法人国立病院機構 東京病院
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	下村 裕	皮膚科学講座	1,243,000	補 委 山口県知事
高度生殖医療による高齢妊娠の周産期予後の検討	杉野 法広	産科婦人科学講座	2,600,000	補 委 浜田市
治験の実施に関する研究(ベランパネル)	神田 隆	臨床神経学講座	499,740	補 委 公益社団法人 日本医師会
治験の実施に関する研究[g-CSF]	坂井 孝司	整形外科科学講座	498,940	補 委 公益社団法人 日本医師会
治験の実施に関する研究(5ALA)	永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学講座	397,800	補 委 公益社団法人 日本医師会
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験介入終了後の追跡研究J-DOIT3(追跡)	谷澤 幸生	病態制御内科学講座	300,000	補 委 公益財団法人 日本糖尿病財団

小計18件

JFMC49-1601-C5(EPOC2 study)	永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学講座	163,000	補 委	公益財団法人 がん集学的治療 研究財団
ハイレスク消化管間質腫瘍 (GIST)に対する完全切除後の治 療に関する研究 (STAR ReGISTry)	吉野 茂文	腫瘍センター	66,000	補 委	公益財団法人 神戸医療産業都 市推進機構
治験の実施に関する研究[ファス ジル][CCT-C-3012]	矢野 雅文	器官病態内科学講座	63,609	補 委	公益社団法人 日本医師会
再発危険因子を有するStagell大 腸癌に対するUFT/LV療法の前 臨床的有用性に関する研究 (JFMC46-1201)	裕 彰一	共同研究講座(先端 がん治療開発学講 座)	21,600	補 委	公益財団法人 がん集学的治療 研究財団
酸化ストレス・抗酸化評価による 健康・未病指標開発研究	野島 順三	基礎検査学講座	660,000	補 委	国立研究開発法 人 理化学研究所
細胞製造における品質規格、パ ラメータ設定研究の教材作り	野島 順三	基礎検査学講座	1,100,000	補 委	公益財団法人 神戸医療産業都 市推進機構
個別化医療に有用な造血管腫瘍 系遺伝子検査システムの研究開 発	永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学 講座	3,000,000	補 委	東洋鋼鉄株式会 社
地域イノベーション・エコシステム 形成プログラム 「革新的コア医療技術に基づく潜 在的アンメット・メディカル・ニーズ 市場の開拓および創造」	玉田 耕治	免疫学講座	72,500,000	補 委	文部科学省
地域イノベーション・エコシステム 形成プログラム 「革新的コア医療技術に基づく潜 在的アンメット・メディカル・ニーズ 市場の開拓および創造」	鈴木 倫保	脳神経外科学講座	10,000,000	補 委	文部科学省
地域イノベーション・エコシステム 形成プログラム 「革新的コア医療技術に基づく潜 在的アンメット・メディカル・ニーズ 市場の開拓および創造」	坂井田 功	消化器内科学講座	4,300,000	補 委	文部科学省
シーズA106「歯周ポケット除菌用 LED光治療器の開発」	西川 潤	基礎検査学講座	1,500,000	補 委	国立大学法人岡 山大学
卵巣顆粒膜細胞の黄体化に伴う 遺伝子発現制御機構の解明	杉野 法広	産科婦人科学講座	750,000	補 委	美祿市
うつ病患者における疾患バイオ マーカーの確立	中川 伸	高次脳機能病態学講 座	375,000	補 委	美祿市
薬剤関連性顎骨壊死(MRONJ)患 者の臨床統計調査	三島 克章	歯科口腔外科学講座	375,000	補 委	美祿市
てんかん病態ダイナミクスの多 面的計測による理解と局所脳冷却 による制御	鈴木 倫保	脳神経外科学講座	32,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
免疫チェックポイント阻害療法の さらなる効果向上を目指した基盤 的がん免疫研究	玉田 耕治	免疫学講座	11,050,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
ストレス経験により記録される海 馬内経験情報の可視化と符号化 ルールの解明	美津島 大	神経生理学講座	8,190,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
便潜血検査と便DNA検査併用に よる大腸腫瘍スクリーニング精度 の検証	末廣 寛	臨床検査・腫瘍学講 座	6,920,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
細胞ストレスからβ細胞不全、イ ンスリン抵抗性へ:新たなメカニ ズムの探究	谷澤 幸生	病態制御内科学講座	6,760,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
機能増強させた細胞由来のエク ソソームを用いたcell-free血管再 生療法の開発	濱野 公一	器官病態外科学講座	6,760,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業

小計20件

臨床検査値調和化ネットワークの構築と大規模症例集積によるEBLM実践環境の創出	市原 清志	病態検査学講座	6,495,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
HSF1による新規転写調節機構を介したプロテオスタシス維持機構の解明	中井 彰	医化学講座	5,850,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
便潜血検査と便DNA検査併用による大腸腫瘍スクリーニング精度の検証	末廣 寛	臨床検査・腫瘍学講座	4,920,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
中大型動物を用いた肝線維化評価モデルによる高効率肝臓再生療法の開発と機序解明	坂井田 功	消化器内科学講座	4,810,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
YAPによる臓器全体の物理特性制御の分子機構の解明	清水 誠	システムズ再生・病態医化学講座	4,680,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアソシン受容体結合カルモジュリン制御による心不全・心肥大・不整脈の包括的治療	矢野 雅文	器官病態内科学講座	4,680,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脂質二重膜での心筋小胞体Ca ²⁺ 輸送調節装置の超微細構造解析と創薬への応用	乾 誠	薬理学講座	4,550,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
YAP-メカノホメオスタシスによる脳構築の場と発生時計連携メカニズムの解明	清水 誠	システムズ再生・病態医化学講座	4,420,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
構音障害の病態解明を目指す数値流体音響解析を用いた構音シミュレーション法の開発	三島 克章	歯科口腔外科学講座	4,330,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
病態制御に向けたエンドサイトーシス・タイピングによるマクロファージ特異性の解明	中村 教泰	器官解剖学講座	4,290,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血液脳関門構成細胞のクロストークを利用した中枢神経自己免疫疾患新規治療法の開発	神田 隆	臨床神経学講座	4,160,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
人工知能による遺伝子発現プロファイル解析に基づいた子宮内膜症の新規治療標的の探索	杉野 法広	産科婦人科学講座	3,900,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血管疾患特有の力学刺激-免疫連関に着目した抗炎症・修復促進療法の開発	吉村 耕一	器官病態外科学講座	3,640,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
がん免疫成立の場の力学制御を可能にするリンパ節オルガノイドの創出	清水 誠	システムズ再生・病態医化学講座	3,510,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
単一細胞遺伝子解析によるヒト造精機能障害の分子機構の解明	白石 晃司	泌尿器科学講座	3,120,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血管新生を目指した虚血組織特異的に集積するエクソソームの探索	濱野 公一	器官病態外科学講座	3,120,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
人工的な疑似細胞内非平衡環境における並進型発動分子のエネルギー論	有賀 隆行	ゲノム・機能分子解析学講座	2,860,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
食欲不振を引き起こすメカニズムの解明	柳井 章江	基礎検査学講座	2,860,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝線維化抑制を目指した血管内皮機能評価による治療効果予測への試み	末永 弘美	病態検査学講座	2,860,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
根治不能口腔癌との共生を目指した新規治療法の開発	竹縄 隆徳	歯科口腔外科	2,730,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計20件

前立腺癌3D-organoid骨微小環境モデルの開発と骨転移機序の解明	松山 豪泰	泌尿器科学講座	2,570,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
重症患者の回復期のせん妄・睡眠障害・対光反射と短期ADLとの関連	鶴田 良介	救急・総合診療医学講座	2,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
児童生徒の食塩摂取量を減らすための地域介入方法の開発	奥田 昌之	機械工学分野	2,470,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
数値流体力学血流解析による早期ステント被覆と新生動脈硬化の機序解明と治療最適化	宮崎 要介	第二内科	2,470,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
水域生態系における薬剤耐性菌の伝播と感染メカニズムの解明への挑戦	小林 由紀	基礎検査学講座	2,440,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
大腸癌細胞の解糖系を介した抗癌剤耐性獲得におけるc-MYCの役割解明	釘宮 成二	第一外科	2,340,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
他家MSCs細胞シート移植による心機能改善効果の検討	中村 玉美	精神科神経科	2,340,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
デュアルエネルギーCTを用いた羊水嚢栓子描出の研究	岡田 宗正	放射線部	2,340,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗heat shock protein抗体による血液脳関門破壊の病態解明と応用	前田 敏彦	医療人育成センター	2,340,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
再生医療に用いる新規高品質間葉系幹細胞の開発	藤澤 浩一	寄附講座(肝臓再生基盤学講座)	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
術前腫瘍量因子と血清メチル化遺伝子による肝癌予後予測システムの構築	徳光 幸生	共同研究講座(先端がん治療開発学講座)	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
アクチン重合のターンオーバーによる臓器・個体サイズ制御機構の解明	浅岡 洋一	システムズ再生・病態医化学講座	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
児童虐待の臨床法医学鑑定を見据えた小児の胸腺の非侵襲的検査法の確立	高瀬 泉	法医学講座	2,193,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Elucidation of in vivo protective effects of huntingtin-associated protein 1 against motor neuron degeneration.	MD. NABIUL ISLAM	神経解剖学講座	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
糖尿病の膵β細胞脱分化に対する治療標的の同定と予防法の開発	椎木 幾久子	寄附講座(分子代謝制御学講座)	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
自己免疫性神経疾患における炎症細胞浸潤を誘導する血管内皮細胞膜抗原の網羅的同定	竹下 幸男	臨床神経学講座	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
意思決定のパラダイムを用いたNIRSによる抑うつ状態の鑑別診断法の開発	陳 冲	高次脳機能病態学講座	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
心原性脳塞栓予防につながる多領域複合的アプローチによる診断および治療法の構築	小室 拓也	病態検査学講座	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Calreticulin陽性膵癌幹細胞の癌幹細胞性および病態生理の解析	松隈 聡	第二外科	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
虚血プレコンディショニングによる生体内アベリン分泌増加を応用した血管新生治療	佐村 誠	第一外科	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計20件

子宮頸癌のCBR1増加による上皮間葉転換抑制作用を介した新たな分子標的薬の開発	梶 邑 匠彌	産科婦人科	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
脳圧上昇によるGlymphatic pathway障害に関する研究	岡 史朗	脳神経外科	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
脊椎脊髄疾患の治療アシストシステムの開発	西田 周泰	整形外科	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
腎癌発症転移に関与する長鎖 non-coding RNAの同定	平田 寛	泌尿器科	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
アルニン酸による抗うつ効果の検討とその作用機序解明	野崎 香菜子	神経解剖学講座	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
3D光干渉断層法と数値流体力学を用いた冠動脈側枝狭窄の予測と専用ステントの開発	岡村 誉之	第二内科	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
デスモリン2の遺伝子変異に起因する心筋症の分子機序の解明	福田 昌和	第二内科	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
マルチ9軸センサと次世代VOGを用いた頭部・体幹・眼球同期記録と動的平衡機能評価	橋本 誠	耳鼻咽喉科	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
患者個別治療効果に基づく適応放射線治療に向けた新規コンビームCTシステムの開発	湯浅 勇紀	放射線部	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
心疾患手術後患者・家族看護のための退院指導アプリケーション作成と有効性の検証	佐伯 京子	臨床看護学講座	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
心筋幹細胞移植による心機能再生メカニズム解明とcell-free再生治療法の開発	鈴木 亮	器官病態外科学講座	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
肥大型心筋症におけるリアノジン受容体安定化による新しい分子標的療法の開発	奥田 真一	第二内科	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
Dclk1に注目した大腸癌新規治療の開発-5FUとDclk1阻害薬の併用療法-	竹本 圭宏	第一外科	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
MSI関連因子を用いた泌尿器癌の抗PD-1抗体治療効果予測アルゴリズムの作成	山本 義明	泌尿器科	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
抗リン脂質抗体症候群の検査診断指針の作成と動脈血栓症発症機序の解明	野島 順三	基礎検査学講座	1,730,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
胃癌に対する免疫チェックポイント分子阻害剤の適切かつ有効な応用	西川 潤	基礎検査学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
二種類の骨髄由来肝臓修復細胞による効率的な肝臓再生療法の開発	山本 直樹	保健管理センター	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
膵がん幹細胞特異抗原に対するマルチHLA結合性ペプチドの同定と新規免疫療法の開発	裕 彰一	共同研究講座(先端がん治療開発学講座)	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
低酸素刺激を併用した心筋幹細胞シート移植による重症心不全治療法の開発	美甘 章仁	器官病態外科学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
HSF1複合体によるエピジェネティックな遺伝子発現制御機構の解明	藤本 充章	医化学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業

小計20件

熱性けいれんの機序解明による中枢神経の高感受性の理解	野村 貞宏	脳神経外科学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膵臓癌患者の生命予後・QOL向上を目指すセラノスティックス粒子の開発	西尾 忠	器官解剖学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
産後うつ病の発症脆弱性に関わる脳内分子神経基盤の解明	樋口 尚子	精神科神経科	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
卵巣顆粒膜細胞の黄体化に伴うVegf遺伝子発現の転写調節機構の解明	品川 征大	総合周産期母子医療センター	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新たなメタボニンの作用の発見と新規の抗肥満の開発に向けた基礎的検討	岡田 真紀	産科婦人科学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
カルモジュリン、GRK5の動態を標的とした心不全・動脈硬化に共通した治療法の探査	小田 哲郎	第二内科	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
マムシ咬傷治療法確立のための多施設間向き観察研究	金田 浩太郎	先進救急医療センター	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
うつ病バイオマーカーとしての長鎖非コードRNAへトランスレシヨナルな視点から	関 友恵	精神科神経科	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
終末期がん患者のスピリチュアルペインにむき合う看護師の臨床推論と介入モデルの特徴	田中 愛子	基礎看護学講座	1,660,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
臨床検査値調和化ネットワークの構築と大規模症例集積によるEBLM実践環境の創出	市原 清志	病態検査学講座	1,645,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
情動性記憶の脳内処理プロセスの解明	石川 淳子	神経生理学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
積層化細胞シートを用いた難治性皮膚潰瘍に対する再生医療法の開発	高橋 雅弥	器官病態外科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
神経系血管バリアーの人為的調節に基づく難治性神経系疾患の新規治療法開発	池田 栄二	病理形態学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
皮膚筋炎における骨格筋微小血管障害の分子メカニズムの解明	佐野 泰照	脳神経内科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアノジン受容体を分子標的とした心不全・不整脈の新たな治療開発	小林 茂樹	器官病態内科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
MED12突然変異のない子宮筋腫のサブタイプの同定と特異的なマスター遺伝子の検出	佐藤 俊	産科婦人科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ペットネコからヒトへの猫ひっかき病感染防御を目指したネコに対するワクチン開発	大津山 賢一郎	病態検査学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
染色体分配関連因子による熱ショック遺伝子の転写誘導機構の解明	瀧井 良祐	医化学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
エンテロウイルスD68感染による重症気管支喘息発作発症の解明および治療法の開発	安戸 裕貴	小児科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝癌幹細胞特異的RAB3Bを標的とした術後肝内再発抑制のための新規治療法開発	恒富 亮一	第二外科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計20件

生活習慣病に合併する肝臓の早期診断マーカーの開発:血中細胞外小胞の解析	山口 奈津	公衆衛生学・予防医学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会科学研究費助成事業
精神科看護師の自己効力感向上を図るツールの開発と評価	矢田 浩紀	臨床看護学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会科学研究費助成事業
胃癌における抗PD-1抗体の効果予測-末梢血と局所の免疫担当細胞の機能解析	吉野 茂文	腫瘍センター	1,560,000	補委	日本学術振興会科学研究費助成事業
免疫チェックポイント阻害剤併用がんペプチド療法におけるバイオマーカーの探索	鈴木 伸明	消化器・腫瘍外科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会科学研究費助成事業
遺伝子制御ネットワークと数理モデルで見出したマスター遺伝子による子宮内膜症の誘導	前川 亮	総合周産期母子医療センター	1,560,000	補委	日本学術振興会科学研究費助成事業
プリオン様タンパク質が引き起こす発癌機構の解明	北川 孝雄	システムズ再生・病態医化学講座	1,530,000	補委	日本学術振興会科学研究費助成事業
急性巣状細菌性腎炎の非侵襲的早期診断法および新規治療法の確立	水谷 誠	小児科	1,430,000	補委	日本学術振興会科学研究費助成事業
大腸癌肝転移に関する癌微小環境におけるmicroRNAの機能解析	飯田 通久	消化器・腫瘍外科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会科学研究費助成事業
快刺激映像を用いたアクティビティケアによる認知症高齢者の自律神経活動活性化の試み	堤 雅恵	地域・老年看護学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会科学研究費助成事業
新規に同定した細胞接着斑分子paxillinが血管収縮における役割の解明	張 影	分子細胞生理学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会科学研究費助成事業
腫瘍微小環境中の細胞内シグナルを制御する次世代型キメラ抗原受容体T細胞の開発	安達 圭志	免疫学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会科学研究費助成事業
難治性皮膚潰瘍に対する他家細胞移植を見据えた積層細胞シート凍結保存法の開発	白澤 文吾	医学教育学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会科学研究費助成事業
成長因子と神経栄養因子の協調作用による創傷治癒促進機構の解明	酒井 大樹	薬理学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会科学研究費助成事業
心肺運動負荷検査指標に基づいた運動プログラムによるうつ病の個別化治療	中川 伸	高次脳機能病態学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会科学研究費助成事業
Hippo-YAP経路による3次元腸管構築と感染・発がん・腸内細菌叢制御の解明	白井 睦訓	ゲノム・機能分子解析学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会科学研究費助成事業
DBPシグナルを介した時計遺伝子ネットワークによるインスリン分泌制御機構の解明	太田 康晴	病態制御内科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会科学研究費助成事業
グルカゴン様ペプチド1作動薬を用いた内在性保護機構活性化による脊髄保護	松本 美志也	麻酔・蘇生学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会科学研究費助成事業
糖尿病モデルマウスにおけるプロテインキナーゼC活性と聴覚についての研究	津田 潤子	耳鼻咽喉科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会科学研究費助成事業
重症心不全に対する心筋幹細胞エクソソームによるCell-free治療法の開発	藏澄 宏之	器官病態外科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会科学研究費助成事業
硬さによる神経前駆細胞の増殖制御メカニズムの解明	徳永 雅之	産科婦人科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会科学研究費助成事業

小計20件

脱脂膜化によって活性化されるマスタド遺伝子を中心とした転写ネットワークの解明	竹谷 俊明	産科婦人科	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
血液脳関門と血液神経関門の人為的改変を可能とする新規生物学的製剤の創製	清水 文崇	脳神経内科	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
抗がん剤抵抗性非小細胞肺癌に対するRNA修飾酵素の役割解明	田中 俊樹	手術部	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
気管支喘息における末梢気道の機能障害を評価するイメージングバイオマーカーの確立	大石 景士	第二内科	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
血管新生能を有するmicroRNAを改変した人工核酸による血管新生療法の開発	上野 耕司	第一外科	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
TROY関連遺伝子は大腸癌の再発予測マーカーとして有用か？	西岡 光昭	検査部	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
化膿性関節炎の早期診断を目的とした関節液中プレセプシンの解析	今金 崇	整形外科	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
大動脈瘤に対するマクロファージ特異的FAK阻害療法の開発	原田 剛佑	第一外科	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
カルモジュリンキナーゼを標的とした炎症シグナル抑制による新規不全治療法の開発	末富 建	第二内科	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
猫ひっかき病急性期診断のための特異IgM抗体検出高感度ELISAの確立と病態解明	常岡 英弘	病態検査学講座	1,421,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
再発予防を目的としたneurofeedbackと情動調整によるうつ病治療法の開発	松原 敏郎	高次脳機能病態学講座	1,400,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
肝硬変症に対する高機能細胞製剤の予期的培養法とセルフリー肝臓再生療法の開発	高見 太郎	寄附講座(肝臓再生基盤学講座)	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
炎症細胞表面分子をターゲットにした劇症型急性肺炎の治療法の開発	長谷川 明洋	ゲノム・機能分子解析学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
IVR併用・培養骨髄由来間葉系幹細胞投与による低侵襲・高効率肝臓再生療法の開発	石川 剛	消化器内科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
リアノジン受容体内ドメイン制御による新しい不整脈、心不全治療	山本 健	病態検査学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
老化制御による新規骨髄増殖性腫瘍治療法の開発	湯尻 俊昭	病態検査学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
Wolfram症候群によってβ細胞死を引き起こすターゲットの同定と治療法の確立	田口 昭彦	病態制御内科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
腫瘍幹細胞および腫瘍微小環境をターゲットとする個別化診療への展開	永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
人工呼吸器患者の口腔ケア支援アプリケーションを用いた教育効果と口腔機能管理の向上	田戸 朝美	臨床看護学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
抗リン脂質抗体症候群における抗リン脂質抗体と酸化ストレスの相乗的向血栓作用の解明	河野 由香里	基礎検査学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業

小計20件

新生児・乳児消化管アレルギーの病態解明と診断法の確立	福田 謙	小児科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
cell-free再生医療の幹細胞エクソソームによる脊髄虚血再灌流障害軽減法開発	森景 則保	第一外科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
一酸化炭素中毒の病態解明と水素ガス吸入による新規治療法の確立	藤田 基	救急・総合診療医学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
カテコラミン誘発性心室頻拍(CPVT)におけるリアノジン受容体異常の機序解明	内海 仁志	第二内科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
新たな高感度リキッドバイオプシーによる進行肝癌治療マネジメントへの挑戦	佐伯 一成	第一内科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
ディープラーニングによる胃癌の深達度診断	五嶋 敦史	消化器内科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
新しい翻訳後修飾「ヒスタミン化」の分子機構と機能的意義の解明	倉増 敦朗	薬理学講座	1,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
生体分子モーター内部で起きる非平衡散逸の定量と数理モデル解析	有賀 隆行	ゲノム・機能分子解析学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
ホスホランパンを標的とした新たな環状ペプチド薬の創出と心不全治療薬への応用	本田 健	薬理学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
1細胞解析法による乳癌内分泌療法抵抗性の解明-血中循環腫瘍細胞からのアプローチ	山本 滋	第二外科	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
糖尿病に伴う難聴予防における終末糖化産物の役割	菅原 一真	耳鼻咽喉科学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
飲酒後の吸収相における呼気中アルコール動態モデルの検討	姫宮 彩子	法医学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
周産期・小児期において家族が「核」となるための遺伝看護実践能力の探索	村上 京子	母子看護学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
「認知症高齢者の在宅復帰・バス」の開発	清永 麻子	地域・老年看護学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
小児リウマチ性疾患における免疫担当細胞の動態解析と難治性予測バイオマーカーの確立	脇口 宏之	小児科学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
内視鏡からの光による新規消化管感染症治療法の開発	岡本 健志	光学医療診療部	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
自己免疫性神経疾患の多様性をもたらす細菌因子の同定	古賀 道明	脳神経内科	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
新生児脳症の病態に則した血清バイオマーカーに関する検討	高橋 一雅	総合周産期母子医療センター	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
急性心筋虚血における、ミトコンドリアのオートファジーの分子機構解明	齊藤 寿郎	第一外科	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
精神担当保健師のための「同僚と10分で困難事例対応能力を向上させる業務モデル」	守田 孝恵	地域・老年看護学講座	1,140,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業

小計20件

漏出細胞+A361:E372内タンパク質の新しい細胞外機能:受容体を共有する単球・内皮での役割と作用	泉 友則	消化器内科学講座	1,110,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
重症虚血肢患者の背景疾患に着目した幹細胞プレコンディショニング法の開発	桂 春作	医学教育学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
多面的アプローチによる外胚葉形成不全症の発症機構の解明	下村 裕	皮膚科学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
オートファジー-活性制御を介した肝細胞がん幹細胞に対する治療法の開発	藤原 信行	消化器・腫瘍外科学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
悪性中皮腫に対する次世代型CAR-T細胞療法の開発	佐古田 幸美	免疫学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
川崎病治療反応性の予測因子および難治例への層別化治療法の確立	長谷川 俊史	小児科学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
病態進行時期に注目した炎症反応制御による脊髄虚血保護効果の研究	山下 敦生	麻酔科蘇生科	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
双胎間輸血症候群の受血児心疾患の予知を目的とした超音波・生化学マーカーの有用性	村田 晋	産科婦人科	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ゼブラフィッシュ側線器有毛細胞を用いた内耳におけるオートファジーの役割の解明	廣瀬 敬信	耳鼻咽喉科	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血液網膜バリアに着目したVEGFを標的としない加齢黄斑変性の治療法の開発	柳井 亮二	眼科	1,015,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
患者の意向に沿った家族の効力感をはぐくむ意思決定支援介入プログラムの開発	伊東 美佐江	母子看護学講座	1,001,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
重症患者の回復期のせん妄・睡眠障害・対光反射と短期ADLとの関連	鶴田 良介	救急・総合診療医学講座	960,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳死下臓器提供における家族看護ケア指針の開発	山本 小奈実	臨床看護学講座	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ファミリー・バイオレンス予防のための地域参加型育児支援システムの開発	藤村 一美	地域・老年看護学講座	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
浸透圧応答性転写因子NFATに着目した膠芽腫の壊死周囲微小環境の病態解析	木村 徳宏	病理形態学講座	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
造血幹細胞移植の予後に対するHLAと非HLA遺伝子の相互作用の効果の解析	高橋 秀和	公衆衛生学・予防医学講座	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
クリティカルケアにおける臨床倫理分析・調整システムツールの開発	山勢 博彰	臨床看護学講座	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳血管攣縮の治療標的分子の同定	森田 知佳	分子細胞生理学講座	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
A cross-cultural intervention study in Japan Thailand and Australia comparison of mental health education for university	McMster Rosanna	基礎看護学講座	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
低炭水化物/高蛋白食で誘導される膵α細胞量増加と白色脂肪細胞褐色化の機序の解明	奥屋 茂	保健管理センター	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計20件

温度感受性タンパク (TRP) チャネルを用いた脳低温療法機序の分子の解明	篠山 瑞也	脳神経外科学講座	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
子宮内膜脱落療法におけるC/EBPbによるゲノムワイドヒストン制御機構の解明	田村 功	総合周産期母子医療センター	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
地域密着型サービスを拠点とした認知症高齢者のエイジング・イン・プレイスの実現	永田 千鶴	地域・老年看護学講座	897,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
地域密着型サービスを拠点とした認知症高齢者のエイジング・イン・プレイスの実現	永田 千鶴	地域・老年看護学講座	797,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
四肢虚血リモートプレコンディショニングと酸化ストレス、フリーラジカルの関与	山下 理	手術部	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
肝星細胞のエネルギー代謝に着目した肝線維抑制法の開発	岩本 拓也	消化器内科学講座	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
講義から臨地実習への橋渡しを可能にする新しい授業評価尺度の開発	大達 亮	臨床看護学講座	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
視交叉上核による室傍核領域の概日振動制御機構の解明	升本 宏平	神経解剖学講座	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
難治性口腔癌に対する鉄取り込み阻害またはフェロトキシ誘導による新規治療法の開発	原田 耕志	歯科口腔外科学講座	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
民生委員を対象にした精神障害者が生活し続けるための地域づくりプログラムの開発	磯村 聡子	地域・老年看護学講座	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
乳癌検診への非造影MRI導入：高分解能拡散強調画像による診断能向上を目指して	古川 又一	放射線医学講座	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
ネグレクトのハイレスク家族支援における「保健師が介入するタイミング」に関する研究	木嶋 彩乃	地域・老年看護学講座	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
深層学習を用いた肺腫瘍判別によるマーカーレス四次元動体追跡放射線治療の確立	椎木 健裕	放射線治療部	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
各種キナーゼの有毛細胞死への関わり	竹本 洋介	耳鼻咽喉科	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
自然免疫因子を新規バイオマーカーとした非ウイルス性肝がんの早期診断法開発	田邊 剛	公衆衛生学・予防医学講座	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
iPS由来GABAergic neuron移植による難治性疼痛治療	鈴木 秀典	整形外科	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
レチノイン酸受容体リガンドを介した網膜下癥痕形成抑制機構の解明	木村 和博	眼科学講座	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
運動トレーニングによる一次運動野V層細胞のシナプス強化メカニズム解明	木田 裕之	神経生理学講座	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
膠芽腫における腫瘍関連マクロファージによる受容体型チロシンキナーゼ活性化の究明	貞廣 浩和	手術部	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業
頭部外傷後脳神経細胞アポトーシスにおける小胞体カルシウムイオンチャネルの関与	戸谷 昌樹	救急・総合診療医学講座	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成 事業

小計20件

カテーテル人工弁留置後弁周囲逆流の診断精度向上とデバイス-ホスト連関に関する研究	立石 裕樹	第二内科	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
小児プロテインC欠乏症の発症時期に関する包括的リスク評価	井上 裕文	小児科	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチーを発症・増悪させる血液神経関門破綻機序の解明	尾本 雅俊	臨床神経学講座	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺癌に対する鉄キレート剤を用いた抗癌剤感受性向上と浸潤・転移抑制機構の基礎研究	篠田 崇平	第一内科	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
稀少な染色体異常症のある児と家族に向けた支援ネットワークの構築	沓脱 小枝子	母子看護学講座	520,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
診療参加型実習における学生診療録ピア・レビュー教育の有効性に関する研究	久永 拓郎	医学教育学講座	520,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ダウン症児における早期乳児期からの積極的運動リハビリテーション	岡田 清吾	総合周産期母子医療センター	520,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
臨床看護師とAI技術協同による看護サービス向上への挑戦	神徳 和子	基礎看護学講座	475,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
母集団薬力学解析法を用いた薬剤性腎障害の発症に係る薬剤寄与の数値化	原田 元	薬剤部	420,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
妊娠先行型結婚をした男性が父親役割に適応していくプロセスと父親のケア・ニーズ	河本 恵理	母子看護学講座	390,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
飲酒と主要栄養素変更の併存が動脈硬化症の進展と心臓性突然死発症に及ぼす影響の解明	劉 金耀	法医学講座	320,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
飲酒と主要栄養素変更の併存が動脈硬化症の進展と心臓性突然死発症に及ぼす影響の解明	劉 金耀	法医学講座	320,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
既婚男女の家族計画支援方法確立に向けた基礎的研究	亀崎 明子	母子看護学講座	260,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
噛みごたえのある固形食物を用いた高齢者の咀嚼・嚥下機能維持・改善プログラムの開発	河村 敦子	地域・老年看護学講座	130,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
がんと免疫の相互作用場の解明に向けたAI・システム医学シングルセル解析プラットフォームの樹立	清水 誠	システムズ再生・病態医化学講座	50,000,000	補委	武田科学振興財団
固形がんに対して有効に機能するエビトープスプレッディング誘導型新規CAR-T細胞療法の開発	安達 圭志	免疫学講座	3,000,000	補委	内藤記念科学振興財団
Ulk1-Rab9 経路を標的とした、虚血性心疾患に対する新規治療戦略の開発	齊藤 寿郎	第一外科	3,000,000	補委	持田記念医学薬学振興財団
遺伝子制御ネットワークと数理モデルから見出したマスター遺伝子による正常子宮内膜細胞からの子宮内膜症細胞の誘導	前川 亮	総合周産期母子医療センター	2,000,000	補委	武田科学振興財団
小胞体ストレスや概日リズムの異常によって引き起こされる脾β細胞機能不全に共通した病態メカニズムの解明と治療法の開発	田口 昭彦	病態制御内科学講座	2,000,000	補委	武田科学振興財団
バセリ由来代謝産物を認識するT細胞の機能制御によるガン免疫療法の開発	柴田 健輔	ゲノム・機能分子解析学講座	1,000,000	補委	ひと・健康・未来研究財団

小計20件

全ての大腸ガン患者を標的とした免疫療法のための創薬研究	柴田 健輔	ゲノム・機能分子解析学講座	1,000,000	補委	鈴木謙三記念 医科学応用研究財団
リアノジン受容体結合カルモジュリン制御による新しい肺高血圧治療	山本 健	病態検査学講座	1,000,000	補委	先進医薬研究振興財団
心筋細胞内の炎症発生源カルモジュリンキナーゼを標的とした新規心不全治療薬の開発	末富 建	第二内科	1,000,000	補委	先進医薬研究振興財団
うつ病診断のための血漿糖鎖バイオマーカーの探索	山形 弘隆	精神科神経科	1,000,000	補委	先進医薬研究振興財団
全ての大腸ガン患者の治療を目的とした免疫療法の開発	柴田 健輔	ゲノム・機能分子解析学講座	1,000,000	補委	新日本先進医療研究財団
Wolfram症候群によってβ細胞死を引き起こすCaチャネルATP2A2を標的とした治療法の開発	田口 昭彦	病態制御内科学講座	1,000,000	補委	公益財団法人 宇部興産学術振興財団
非ペプチド性代謝産物をターゲットとした新規ガン免疫療法の開発	柴田 健輔	ゲノム・機能分子解析学講座	1,000,000	補委	公益財団法人 宇部興産学術振興財団
ヒト子宮内膜オルガノイドを用いた着床モデルの確立・着床機構の解明と再生医療の展開	田村 功	総合周産期母子医療センター	1,000,000	補委	公益財団法人 山口内分泌疾患研究振興財団
食用植物に含まれる代謝産物を用いた抗ガン免疫療法の開発	柴田 健輔	ゲノム・機能分子解析学講座	1,000,000	補委	公益財団法人 YMFG地域企業助成基金
IgG4関連疾患に対する新規バイオマーカーの開発	柴田 健輔	ゲノム・機能分子解析学講座	800,000	補委	黒住医学研究振興財団
mitophagyの選択的な誘導による、虚血性心疾患に対する新規治療戦略の開発	齊藤 寿郎	第一外科	700,000	補委	金原一郎記念 医学医療振興財団
小児の未分化大細胞リンパ腫に対する同種造血幹細胞移植における予後因子の解明	深野 玲司	小児科	500,000	補委	森永奉仕会
成長期卓球選手の障害予防と栄養相談	小笠 博義	リハビリテーション部	500,000	補委	公益財団法人 日本卓球協会

小計13件
合計251件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Goto A, Nishikawa J, Ito S, et al.	第一内科	A Rapidly Developing Diffuse Large B cell Lymphoma of the Stomach.	Journal of gastrointestinal cancer・2019 Sep	Article
2	Iwamoto T, Maeda M, Saeki I, et al.	第一内科	Analysis of tolvaptan non-responders and outcomes of tolvaptan treatment of ascites.	Journal of gastroenterology and hepatology・2019 Jul	Article
3	Fujisawa K, Takami T, Nagatomo T, et al.	第一内科	Usefulness of adult medaka fish as a model for the evaluation of alcoholic fatty liver.	Alcohol (Fayetteville, N.Y.)・2019 Jun	Article
4	Harima H, Sanuki K, Sakaida I	第一内科	Successful endoscopic ultrasound-guided gallbladder drainage through the mesh of a duodenal stent for cholecystitis in a patient with pancreatic cancer.	Digestive endoscopy : official journal of the Japan Gastroenterological Endoscopy Society・2019 Jul	Note
5	Saeki I, Yamasaki T, Maeda M, et al.	第一内科	Effect of body composition on survival benefit of hepatic arterial infusion chemotherapy for advanced hepatocellular carcinoma: A comparison with sorafenib therapy.	PloS one・2019	Article

小計5件

6	Goto A, Nishikawa J, Ito S, et al.	第一内科	Gastrointestinal Mantle Cell Lymphoma with Varied Findings.	Journal of gastrointestinal cancer•2020 Mar	Article
7	Kaino S, Harima H, Sakaida I	第一内科	Partial stent-in-stent placement using uncovered metal stents with a slim delivery system for hilar bile duct stricture by a short single-balloon enteroscope.	Digestive endoscopy : official journal of the Japan Gastroenterological Endoscopy Society•2020 Jan	Letter
8	Ishikawa T, Sasaki R, Nishimura T, et al.	第一内科	A novel therapeutic strategy for esophageal varices using endoscopic treatment combined with splenic artery embolization according to the Child-Pugh classification.	PloS one•2019	Article
9	Iwamoto T, Saeki I, Hidaka I, et al.	第一内科	Novel Therapeutic Strategy Using Interventional Radiology (IVR) for Hepatitis C Virus (HCV)-Related Decompensated Liver Cirrhosis: A Case Report.	The American journal of case reports•2019 Nov 18	Article
10	Goto A, Nishikawa J, Ito S, et al.	第一内科	Estimation of salt intake from spot urine may assist the risk assessment of gastric cancer.	Journal of clinical biochemistry and nutrition•2020 Jan	Article

小計5件

11	Ishikawa T, Sasaki R, Nishimura T, et al.	第一内科	Improved Hepatic Reserve and Fibrosis in a Case of "Portal-Systemic Liver Failure" by Portosystemic Shunt Occlusion.	The American journal of case reports•2020 Feb 17	Article
12	Harima H, Kaino S, Fujimoto Y, et al.	第一内科	Endoscopic ultrasound-guided antegrade stenting through a hilar cholangiocarcinoma associated with a severe biliary infection.	Endoscopy•2020 Mar 18	Article
13	Harima H, Kaino S, Amano S, et al.	第一内科、	Bile leakage from a proximal aperture of the dedicated plastic stent: a technical pitfall during endoscopic ultrasound-guided hepaticogastrostomy.	BMJ case reports•2020 Mar 19	Article
14	Saeki I, Yamasaki T, Yamashita S, et al.	第一内科	Early Predictors of Objective Response in Patients with Hepatocellular Carcinoma Undergoing Lenvatinib Treatment.	Cancers•2020 Mar 25	Article
15	Harima H, Kaino S, Fujimoto Y, et al.	第一内科	EUS-guided antegrade stenting using a braided metal stent with a 6-Fr novel slim delivery system for malignant biliary stricture following Roux-en-Y reconstruction (with video).	Endoscopic ultrasound•2020 Mar-Apr	Article

小計5件

16	Kobayashi S, Myoren T, Kajii T, et al.	第二内科	Addition of a beta1-Blocker to Milrinone Treatment Improves Cardiac Function in Patients with Acute Heart Failure and Rapid Atrial Fibrillation.	Cardiology•2019	Article
17	Yoshiga Y, Okamoto T, Shimizu A, et al.	第二内科	Correlation between asymptomatic gastroesophageal excessive transmural injury after pulmonary vein isolation and a bonus freeze protocol using the second-generation 28-mm cryoballoon for paroxysmal atrial fibrillation.	Journal of cardiology•2019 Dec	Article
18	Yoshiga Y, Shimizu A, Yano M	第二内科	The new era of atrial fibrillation treated by direct oral anticoagulants and catheter ablation-Comment on the "HAF-NET Registry".	Journal of arrhythmia•2019 Oct	letetr
19	Kobayashi S, Wakeyama T, Ono S, et al.	第二内科	A multicenter, randomized, double-blind, controlled study to evaluate the efficacy and safety of dantrolene on ventricular arrhythmia as well as mortality and morbidity in patients with chronic heart failure (SHO-IN trial): rationale and design.	Journal of cardiology•2020 Apr	Article
20	Nakamura Y, Tanaka Y, Tanaka M, et al.	第三内科	Significance of Granulocyte Colony-Stimulating Factor-Combined High-Dose Cytarabine, Cyclophosphamide, and Total Body Irradiation in Allogeneic Hematopoietic Cell Transplantation for Myeloid Malignant Neoplasms.	Transplantation proceedings•2019 Apr	Article

小計5件

21	Suetomi R, Ohta Y, Akiyama M, et al.	第三内科	Adrenomedullin has a cytoprotective role against endoplasmic reticulum stress for pancreatic beta-cells in autocrine and paracrine manners.	Journal of diabetes investigation・2020 Jan 27	Article
22	Nakashima N, Noda M, Ueki K, et al.	第三内科	Recommended configuration for personal health records by standardized data item sets for diabetes mellitus and associated chronic diseases: A report from Collaborative Initiative by six Japanese Associations.	Diabetol int.・2019 Apr 25	Article
23	Shimizu F, Oishi M, Sawai S, et al.	脳神経内科	Increased IP-10 production by blood-nerve barrier in multifocal acquired demyelinating sensory and motor neuropathy and multifocal motor neuropathy.	Journal of neurology, neurosurgery, and psychiatry・2019 Apr	Article
24	Koga M, Kishi M, Fukusako T, et al.	脳神経内科	Antecedent infections in Fisher syndrome: sources of variation in clinical characteristics.	Journal of neurology・2019 Jul	Article
25	Shimizu F, Takeshita Y, Sano Y, et al.	脳神経内科	GRP78 antibodies damage the blood-brain barrier and relate to cerebellar degeneration in Lambert-Eaton myasthenic syndrome.	Brain : a journal of neurology・2019 Aug 1	Article

小計5件

26	Shimizu F, Takeshita Y, Hamamoto Y, et al.	脳神経内科	GRP 78 antibodies are associated with clinical phenotype in neuromyelitis optica.	Annals of clinical and translational neurology・2019 Oct	Article
27	Shimizu F, Kanda T	脳神経内科	[Pericytes of the Nervous System: Physiological and Pathological Role].	Brain and nerve = Shinkei kenkyu no shinpo・2020 Feb	Review
28	Matsunaga K, Hamada K, Oishi K, et al.	呼吸器・感染症内科	Factors Associated with Physician-Patient Discordance in the Perception of Asthma Control.	The journal of allergy and clinical immunology. In practice・2019 Nov - Dec	Article
29	Matsunaga K, Oishi K, Miravittles M, et al.	呼吸器・感染症内科	Time To Revise COPD Treatment Algorithm.	International journal of chronic obstructive pulmonary disease・2019 Sep 27	Article
30	Yamaji Y, Oishi K, Hamada K, et al.	呼吸器・感染症内科	Detection of type2 biomarkers for response in COPD.	Journal of breath research・2020 Feb 25	Article

小計5件

31	Matsunaga K, Katoh N, Fujieda S, et al.	呼吸器・感染症内科	Dupilumab: Basic aspects and applications to allergic diseases.	Allergology international : official journal of the Japanese Society of Allergology・2020 Apr	Review
32	Matsubara T, Matsuo K, Matsuda A, et al.	精神科神経科	Combining phone and postcard brief contact interventions for preventing suicide reattempts: A quasi-randomized controlled trial.	Psychiatry research・2019 Sep	Letter
33	Seki T, Yamagata H, Uchida S, et al.	精神科神経科	Altered expression of long noncoding RNAs in patients with major depressive disorder.	Journal of psychiatric research・2019 Oct	Article
34	Wakiguchi H	小児科	Multispecialty approach for improving outcomes in juvenile dermatomyositis.	Journal of multidisciplinary healthcare・2019	review
35	Fukano R, Mori T, Fujita N, et al.	小児科	Successful outcome with reduced-intensity condition regimen followed by allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for relapsed or refractory anaplastic large-cell lymphoma.	International journal of hematology・2019 Dec	Article

小計5件

36	Inoue H, Matsushige T, Ichiyama T, et al.	小児科	Elevated quinolinic acid levels in cerebrospinal fluid in subacute sclerosing panencephalitis.	Journal of neuroimmunology • 2020 Feb 15	Article
37	Okada S, Fukunaga S, Ohta H, et al.	小児科	Cerebral Insufficiency Caused by Diazoxide in a Premature Neonate with Congenital Hyperinsulinism.	Neuropediatrics • 2019 Nov 27	Letter
38	Okada S, Hashimoto S, Miyake A, et al.	小児科	Kawasaki Disease Following Severe Sunburn Injury.	Frontiers in pediatrics • 2020	Case report
39	Suzuki R, Mikamo A, Matsuno Y, et al.	第一外科	Endovascular Treatment of Intercostal Artery Aneurysm Associated With Aortic Coarctation.	The Annals of thoracic surgery • 2019 Jul	Article
40	Morikage N, Mizoguchi T, Takeuchi Y, et al.	第一外科	Chimney Endovascular Aneurysm Repair Using Endurant Stent-Grafts With Bare Balloon-Expandable Stents for Patients With Juxtarenal Aortic Aneurysms.	Journal of endovascular therapy : an official journal of the International Society of Endovascular Specialists • 2019 Jun	Article

小計5件

41	Suehiro K, Yamamoto S, Honda S, et al.	第一外科	Perioperative variations in indices derived from noninvasive assessments to detect postmastectomy lymphedema.	Journal of vascular surgery. Venous and lymphatic disorders•2019 Jul	Article
42	Morikage N, Nishimura J, Mizoguchi T, et al.	第一外科	Reverse slider technique using the Endurant stent graft for accurate proximal sealing in hostile neck endovascular aneurysm repair.	Journal of vascular surgery cases and innovative techniques•2019 Sep	Article
43	Suzuki R, Mikamo A, Matsuno Y, et al.	第一外科	Effect of Autotransfusion Using Intraoperative Predonated Autologous Blood on Coagulopathy during Thoracic Aortic Surgery: A Randomized Controlled Trial.	Annals of thoracic and cardiovascular surgery ; official journal of the Association of Thoracic and Cardiovascular Surgeons of Asia•2019 Dec 20	Article
44	Suehiro K, Morikage N, Harada T, et al.	第一外科	Regular Compression Therapy May Not Be Necessary for Lymphedema in Arms without a Subcutaneous Echo-Free Space.	Annals of vascular surgery•2020 Jan	Article
45	Suzuki N, Hazama S, Nagasaka T, et al.	第二外科	Multicenter phase II study of biweekly CAPIRI plus bevacizumab as second-line therapy in patients with metastatic colorectal cancer (JSWOG-C3 study).	International journal of clinical oncology•2019 Oct	Article

小計5件

46	Matsukuma S, Tokumitsu Y, Shindo Y, et al.	第二外科	Essential updates to the surgical treatment of biliary tract cancer.	Annals of gastroenterological surgery•2019 May	Review
47	Matsui H, Hazama S, Tamada K, et al.	第二外科	Identification of a Promiscuous Epitope Peptide Derived From HSP70.	Journal of immunotherapy (Hagerstown, Md. : 1997)• 2019 Sep	Article
48	Shindo Y, Hazama S, Tsunedomi R, et al.	第二外科	Novel Biomarkers for Personalized Cancer Immunotherapy.	Cancers•2019 Aug 22	Review
49	Tokumitsu Y, Shindo Y, Matsui H, et al.	第二外科	Utility of scoring systems combining the product of tumor number and size with liver function for predicting the prognosis of patients with hepatocellular carcinoma after hepatectomy.	Oncology letters•2019 Oct	Article
50	Nagano H	第二外科	The time has come for Japanese surgeons to work in English.	Annals of gastroenterological surgery•2020 Jan	Editorial

小計5件

51	Imajo Y, Kanchiku T, Suzuki H, et al.	整形外科	Assessment of spinal cord relative vulnerability in C4-C5 compressive cervical myelopathy using multi-modal spinal cord evoked potentials and neurological findings.	The journal of spinal cord medicine•2019 Jun 10	Article
52	Nishida N, Ohgi J, Jiang F, et al.	整形外科	Finite Element Method Analysis of Compression Fractures on Whole-Spine Models Including the Rib Cage.	Computational and mathematical methods in medicine•2019 May 5	Article
53	Imajo Y, Nishida N, Funaba M, et al.	整形外科	Preoperative factors that predict fair outcomes following surgery in patients with proximal cervical spondylotic amyotrophy. A retrospective study.	Spinal cord•2020 Mar	Article
54	Suzuki H, Aono S, Inoue S, et al.	整形外科	Clinically significant changes in pain along the Pain Intensity Numerical Rating Scale in patients with chronic low back pain.	PloS one•2020 Mar 3	Article
55	Shimomura Y, O'Shaughnessy R, Rajan N	形成外科	PLCD1 and Pilar Cysts.	The Journal of investigative dermatology•2019 Oct	Note

小計5件

56	Shiraishi K, Matsuyama H	泌尿器科	Klinefelter syndrome: From pediatrics to geriatrics.	Reproductive medicine and biology•2019 Apr	Review
57	Shiraishi K, Tabara M, Matsuyama H	泌尿器科	High Inguinal Microsurgical Denervation of the Spermatic Cord for Chronic Scrotal Content Pain: A Novel Approach for Adult and Pediatric Patients.	Urology•2019 Sep	Article
58	Yamamoto Y, Otori T, Inoue R, et al.	泌尿器科	Pharmacokinetics of Neoadjuvant Axitinib Influenced the Efficacy in Patients With Advanced Renal Cell Carcinoma.	Journal of clinical pharmacology•2020 Feb	Article
59	Matsumoto H	泌尿器科	Editorial Comment from Dr Matsumoto to Intraoperative hypotension caused by oral administration of 5-aminolevulinic acid for photodynamic diagnosis in patients with bladder cancer.	International journal of urology : official journal of the Japanese Urological Association•2019 Nov	Note
60	Shiraishi K, Tabara M, Matsuyama H	泌尿器科	Transcriptome Analysis to Identify Human Spermatogonial Cells from Sertoli Cell-Only Testes.	The Journal of urology•2020 Apr	Article

小計5件

61	Yamamoto Y, Matsuyama H, Matsumoto H, et al.	泌尿器科	Prognostic value of risk stratification using blood parameters for nivolumab in Japanese patients with metastatic renal-cell carcinoma.	Japanese journal of clinical oncology・2020 Feb 17	Article
62	Hatano M, Tokuda K, Kobayashi Y, et al.	眼科	Inhibitory effect of nintedanib on VEGF secretion in retinal pigment epithelial cells induced by exposure to a necrotic cell lysate.	PloS one・2019	Article
63	Tokuda K, Baron B, Yamashiro C, et al.	眼科	Up-regulation of the pentose phosphate pathway and HIF-1alpha expression during neural progenitor cell induction following glutamate treatment in rat ex vivo retina.	Cell biology international・2019 Aug 8	Article
64	Takemoto Y, Hirose Y, Sugahara K, et al.	耳鼻咽喉科	Erratum to "Protective effect of an astaxanthin nanoemulsion against neomycin-induced hair-cell damage in zebrafish" [Auris Nasus Larynx 45 (2018) 20-25].	Auris, nasus, larynx・2019 Jun	Erratum
65	Hori T, Sugahara K, Tsuda J, et al.	耳鼻咽喉科	Oral administration of an herbal medicine to prevent progressive hearing loss in a mouse model of diabetes.	Auris, nasus, larynx・2019 Oct	Article

小計5件

66	Kunihiro Y, Tanaka N, Kawano R, et al.	放射線科	Differential diagnosis of pulmonary infections in immunocompromised patients using high-resolution computed tomography.	European radiology・2019 Nov	Article
67	Kunihiro Y, Hara A, Ikeda E, et al.	放射線科	A Case of Pulmonary Langerhans Cell Histiocytosis With Acute Progressive Nodular Lesions Depicted on High-Resolution Computed Tomography.	Journal of thoracic imaging・2019 Nov	Conference Paper
68	Miwa Matsukuma, Matakazu Furukawa, Shigeru Yamamoto, et al.	放射線科	The kinetic analysis of breast cancer: An investigation of the optimal temporal resolution for dynamic contrast-enhanced MR imaging.	Clin Imaging.・2020 01	Article
69	Tanaka H, Kawaguchi M, Shoda S, et al.	放射線治療科	Nuclear Accumulation of beta-Catenin in Cancer Stem Cell Radioresistance and Stemness in Human Colon Cancer.	Anticancer research・2019 Dec	Article
70	Maekawa R, Tamura I, Shinagawa M, et al.	産科婦人科	Genome-wide DNA methylation analysis revealed stable DNA methylation status during decidualization in human endometrial stromal cells.	BMC genomics・2019 Apr 29	Article

小計5件

71	Kajimura T, Sato S, Murakami A, et al.	産科婦人科	Overexpression of carbonyl reductase 1 inhibits malignant behaviors and epithelial mesenchymal transition by suppressing TGF-beta signaling in uterine leiomyosarcoma cells.	Oncology letters • 2019 Aug	Article
72	Murata S, Nakata M, Sugino N	産科婦人科	Prevalence of right ventricular outflow tract abnormalities among recipients in twin-twin transfusion syndrome after fetoscopic laser surgery in 90 consecutive cases.	Journal of medical ultrasonics (2001) • 2020 Jan	Article
73	Sato S, Maekawa R, Tamura I, et al.	産科婦人科	SATB2 and NGR1: potential upstream regulatory factors in uterine leiomyomas.	Journal of assisted reproduction and genetics • 2019 Nov	Article
74	Tamura H, Yoshida H, Kikuchi H, et al.	産科婦人科	The clinical outcome of Dienogest treatment followed by in vitro fertilization and embryo transfer in infertile women with endometriosis.	Journal of ovarian research • 2019 Dec 12	Article
75	Tamura H, Jozaki M, Tanabe M, et al.	産科婦人科	Importance of Melatonin in Assisted Reproductive Technology and Ovarian Aging.	International journal of molecular sciences • 2020 Feb 8	Review

小計5件

76	Tamura I, Takagi H, Doi	産科婦人科	Wilms tumor 1 regulates lipid accumulation in human endometrial stromal cells during decidualization.	The Journal of biological chemistry • 2020 Apr 3	Article
77	Nomura S, Kida H, Hirayama Y, et al.	脳神経外科	Reduction of spike generation frequency by cooling in brain slices from rats and from patients with epilepsy.	Journal of cerebral blood flow and metabolism • 2019 Nov	Article
78	Oka F, Chung DY, Suzuki M, et al.	脳神経外科	Delayed Cerebral Ischemia After Subarachnoid Hemorrhage: Experimental–Clinical Disconnect and the Unmet Need.	Neurocritical care • 2020 Feb	Review
79	Ishihara H, Oka F, Goto H, et al.	脳神経外科	Impact of Frailty on Medium-Term Outcome in Asymptomatic Patients After Carotid Artery Stenting.	World Neurosurgery • 2019 Jul	Article
80	Suehiro E, Fujiyama Y, Kiyohira M, et al.	脳神経外科	Risk of Deterioration of Geriatric Traumatic Brain Injury in Patients Treated with Antithrombotic Drugs.	World Neurosurgery • 2019 Jul	Article

小計5件

81	Moriyama H, Nomura S, Kida H, et al.	脳神経外科	Suppressive Effects of Cooling Compounds Icilin on Penicillin G-Induced Epileptiform Discharges in Anesthetized Rats.	Frontiers in pharmacology • 2019 June	Article
82	Ishihara H, Oka F, Kawano R, et al.	脳神経外科	Hounsfield Unit Value of Interpeduncular Cistern Hematomas Can Predict Symptomatic Vasospasm.	Stroke • 2020 Jan	Article
83	Mishima K, Shiraishi M, Umeda H	歯科口腔外科	Bilateral cleft lip and palate accompanied by 13q- syndrome with deficiencies of FVII and FX: A case report	Journal of Clinical Pediatric Dentistry • 2019 May	Case report
84	Kaneda K, Yagi T, Todani M, et al.	先進救急医療センター	Impact of type of emergency department on the outcome of out-of-hospital cardiac arrest: a prospective cohort study.	Acute medicine & surgery • 2019 Oct	Article
85	Koga Y, Kaneda K, Fujii N, et al.	先進救急医療センター	Comparison of high-flow nasal cannula oxygen therapy and non-invasive ventilation as first-line therapy in respiratory failure: a multicenter retrospective study.	Acute medicine & surgery • 2020 Jan-Dec	Article

小計5件

86	Ozaki, Masakazu,Kouda, Kyoji, et al.	薬剤部	Determination of compatibility of fosaprepitant dimeglumine and magnesium sulfate injections by high- performance liquid chromatography	THE BULLETIN OF THE YAMAGUCHI MEDICAL SCHOOL・43617	Original Article
87	Cui D, Arima M, Hirayama T, et al.	病理形態学	Hypoxia-induced disruption of neural vascular barrier is mediated by the intracellular induction of Fe(II) ion.	Experimental cell research・2019 Jun 15	Article

小計2件

合計87件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名: 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること

(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	竹田孔明、谷澤幸生	第三内科	【検査項目と異常値からみた-緊急・重要疾患レッドページ】(1章)全身疾患 代謝性アシドーシス	臨床検査・43940	
2	谷澤幸生、田部勝也、 椎木幾久子、他	第三内科	インスリンシグナル伝達病と希少・難治疾患における糖尿病 Wolfram症候群UP TO DATE	糖尿病・43940	
3	竹田孔明、谷澤幸生	第三内科	蝶形骨洞内の異所性PRL産生下垂体腺腫に対して7年間の薬物治療を行った一例	日本内分泌学会雑誌・43940	
4	太田康晴、田口昭彦、 松村卓郎、他	第三内科	次世代に向けた体質医学研究 体内時計と代謝制御機構	日本体質医学会雑誌・44062	
5	田口昭彦、太田康晴、 松村卓郎、他	第三内科	時計遺伝子E4BP4を介する肝臓でのエネルギー代謝調節機構の解明	日本体質医学会雑誌・44001	
6	太田康晴、松村卓郎、 田口昭彦、他	第三内科	出力系時計遺伝子DBP,E4BP4を介した肝臓における脂質代謝制御機構	糖尿病・43940	
7	谷澤幸生、太田康晴、 田部勝也、他	第三内科	膵β細胞機能の新たなメッセンジャー:その生理と病態 WFS1遺伝子とβ細胞機能(WFS1 and β-cell function)	糖尿病・43940	
8	田口昭彦、太田康晴、 松村卓郎、他	第三内科	時計遺伝子E4BP4,DBPと膵β細胞機能との関連	糖尿病・43940	
9	村川慶多、平野綱彦、 村田順之、他	第三内科	喘息における身体活動性と関連する因子の検討	日本体質医学会雑誌・44062	
10	椎木幾久子、田部勝也、 西村渉、他	第三内科	Wolfram症候群をモデルとした細胞内ストレスによる膵β細胞可塑性制御の解明	糖尿病・43940	

小計10件

11	谷澤幸生、田部勝也、 椎木幾久子、他	第三内科	インスリンシグナル伝達病と希少・難治疾患における糖尿病 Wolfram症候群UP TO DATE	糖尿病・43940	
12	田部勝也、椎木幾久子、 幡中雅行、他	第三内科	膵島細胞の可塑性と糖尿病における意義 Wfs1欠損により引き起こされたβ細胞機能不全の機序としての膵β細胞可塑性 (Pancreatic β-cell)	糖尿病・43940	
13	谷澤幸生、太田康晴、 田部勝也、他	第三内科	膵β細胞機能の新たなメッセンジャー:その生理と病態 WFS1遺伝子とβ細胞機能 (WFS1 and β-cell function)	糖尿病・43940	
14	竹田孔明、谷澤幸生	第三内科	蝶形骨洞内の異所性 PRL産生下垂体腺腫に対して7年間の薬物治療を行った一例	日本内分泌学会雑誌・43940	
15	酒井康平、田中芳紀、 松隈雅史、他	第三内科	Multiple lymphomatous polyposis型の腸管病変から診断されたマントル細胞リンパ腫	臨床血液・43970	
16	椎木幾久子、田部勝也、 佐藤吉彦、他	第三内科	膵β細胞脱分化は糖尿病患者の膵β細胞不全に関連する	日本体質医学会雑誌・44062	
17	谷澤幸生	第三内科	進化する2型糖尿病の病態解明と薬物療法	日本薬剤師会学術大会講演要旨集・44123	
18	淀川千佳、藤本留理子、 田口昭彦、他	第三内科	アルコール依存症に合併したSIADHが疑われた一例	日本内分泌学会雑誌・44123	
19	秋山優、幡中雅行、 竹田孔明、他	第三内科	先端巨大症例において手術前・後で血糖クランプ試験を行いインスリン抵抗性・分泌能を評価し得た症例	日本先進糖尿病治療研究会雑誌・44154	
20	松隈雅史、湯尻俊昭、 徳永良洋、他	第三内科	日本人骨髄増殖性腫瘍患者におけるJAK2とTERT遺伝子多型の解析	山口医学・44062	

小計10件

21	田口昭彦、太田康晴、 松村卓郎、他	第三内科	時計遺伝子 E4BP4,DBPと β 細胞機能との関連	糖尿病・43940	
22	谷澤幸生、 ArodaVanitaR、 JaeckelElmar、他	第三内科	IDegLiraの胃腸障害 の発現率は,GLP-1受 容体作動薬ではない 対照と同程度である	糖尿病・43940	
23	太田康晴、松村卓郎、 田口昭彦、他	第三内科	出力系時計遺伝子 DBP,E4BP4を介した 肝臓における脂質代 謝制御機構	糖尿病・43940	
24	酒井康平、徳永良洋、 山本薫、他	第三内科	維持透析を必要とし た初発のaHUSの一 例	山口医学・44184	
25	中川伸	精神科神経科	【精神医学における 様々な仮説とモデル の今1】うつ病のコルチ ゾール仮説	精神科治療学・43709	総説
26	原田剛佑、森景則保、 大塚遼、他	第一外科	高位腹部大動脈閉塞 に対して血管内治療 を行った1例	血管外科・2019.11	原著
27	村上順一	第一外科	胸腔鏡下肺区域または 葉切除術後の胸腔 ドレーン非留置の安全 性と有用性	山口医学・2019.8	ミニ・レビュー
28	須藤優太郎、森景則保、 溝口高弘、他	第一外科	正中弓状靱帯圧迫に 続発した膵十二指腸 動脈瘤に対してステ ンドグラフト治療により 血流を制御した1例	日本血管外科学会雑誌・ 2020.3	症例報告
29	坂井孝司	整形外科	3次元積層造形法に よる人工股関節イン プラント	別冊整形外科・2019.4	
30	岩永隆太、市原佑介、 三原惇史、他	整形外科	Microgeodic disease の経験	中国・四国整形外科学会 雑誌・2019.4	

小計10件

31	西田周泰、今城靖明、 坂井孝司	整形外科	脊髄圧迫のシミュレーション	Clinical Neuroscience・ 2019.6	
32	鈴木秀典、坂井孝司、 柴田政彦、他	整形外科	慢性疼痛の診療に関 わる医療者育成の展 望 慢性の痛みに関 する教育プログラムの 構築 課題解決型高 度医療人材養成プロ グラム 慢性の痛みに 関する領域	Journal of Musculoskeletal Pain Research・2019.9	
33	中島大介、今釜崇、関 寿大、他	整形外科	化膿性関節炎におけ る組織培養と術前術 中関節液培養の関連 性の検討	整形外科と災害外科・ 2019.9	
34	関万成、小笠博義、今 釜崇、他	整形外科	人工膝関節全置換術 の術後急性期痛は患 者満足度に影響を与 えるか?	中部日本整形外科災害外 科学会雑誌・2020.1	
35	下村裕	皮膚科	免疫異常を呈する遺 伝性毛髪疾患	日本皮膚免疫アレルギー 学会雑誌・43556	総説
36	下村裕	皮膚科	改訂ガイドラインを踏 まえた円形脱毛症の 治療	臨床皮膚科・43556	総説
37	浅野伸幸、下村裕	皮膚科	3重複癌を合併した抗 TIF1- γ 抗体陽性皮 膚筋炎の1例	加齢皮膚医学セミナー・ 43617	症例報告
38	下村裕	皮膚科	多毛症	皮膚と美容・43709	総説
39	下村裕	皮膚科	LIPH遺伝子変異によ る異常は頭髮だけ か?	皮膚病診療・43770	ノート
40	堀健志、菅原一真、津 田潤子、他	耳鼻咽喉科	甲状腺を貫通した咽 頭外魚骨異物例	耳鼻咽喉科臨床・2019 June	Article

小計10件

41	清平美和、末廣栄一、 藤山雄一、他	脳神経外科	重症急性硬膜下血腫 における頭蓋内圧亢 進の予測因子に関する 検討	脳神経外科・2019.7	Article
42	清平美和、末廣栄一、 篠山瑞也、他	脳神経外科	頭部外傷後に Guillain-Barre症候群 を疑うpolyneuropathy を発症した1例	Journal of Japan Society of Neurological Emergencies & Critical Care・2019.12	Case Report
43	末廣栄一、石原秀行、 藤山雄一、他	脳神経外科	高齢者頭部外傷への 対応におけるビッド フォールー抗血栓 薬内服との関連か ら	脳神経外科ジャーナル・ 2019.10	Article
44	貞廣浩和、杉本至健、 石原秀行、他	脳神経外科	staged carotid artery stenting の頸部血管 エコーによる血流速 度の変化	Neurosonology:神経超音 波医学・2019.10	Article
45	末廣栄一、藤山雄一、 清平美和、他	脳神経外科	頭部外傷データバン ク【プロジェクト 2015】 の概略	神経外傷・2019.12	Review
46	三島克章	歯科口腔外	両側性口唇裂初回形 成術後の口笛変形に 対する治療戦略	日歯先技研会誌・	
47	姫宮(白鳥)彩子、藤宮 龍也	法医学講座	アルコール性臓器障 害の進展における交 感神経活性化の関 与、	日本アルコール・薬物医学 会雑誌・201906	Review
48	藤宮龍也、姫宮彩子	法医学講座	飲酒の法医鑑定にま つわる諸問題、	犯罪学雑誌・201912	Review

小計8件
合計48件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	☒ 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	☒ 有・無
・ 手順書の主な内容 目的と適用範囲について、委員会の役割・責務について、委員会の業務について等 「臨床研究に関する倫理指針」に則った各項目を整備し、手順書を定めている。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	☒ 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	☒ 有・無
・ 規定の主な内容 委員会の設置について、審議事項について、組織について等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年10回
・ 研修の主な内容 人医学系研究の倫理指針・臨床研究法について、申請手続きについて、IRB審査について、 人医学系研究に係る利益相反について等	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

山口大学医学部附属病院では各診療科長の統括管理の下に専門研修を行っており、本院を基幹施設とし、山口県内の各医療圏の中核病院を主な連携施設として専門研修施設群を形成し、基本領域専門医からサブスペシャルティ専門医まで取得できるように体系的な専門研修プログラムを策定している。

また、大学病院や地域中核病院での数多くの症例経験を通じ、各診療領域における実践的かつ高度な専門的診療能力（知識及び技能）の育成を図っている。

さらに、本院では専門研修を行いつつ山口大学大学院医学系研究科に進学して学位を取得することが可能となっており、今後の医療の発展を支えるリサーチマインドを有する臨床医の養成も推進している。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	37人
-------------	-----

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
坂井田 功	第一内科	科長	37年	内科
矢野 雅文	第二内科	科長	36年	内科
谷澤 幸生	第三内科	科長	36年	内科
神田 隆	脳神経内科	科長	38年	内科
松永 和人	呼吸器・感染症内科	科長	29年	内科
長谷川 俊史	小児科	科長	29年	小児科
下村 裕	皮膚科	科長	21年	皮膚科
中川 伸	精神科神経科	科長	30年	精神科
濱野 公一	第一外科	科長	34年	外科
永野 浩昭	第二外科	科長	34年	外科
坂井 孝司	整形外科	科長	26年	整形外科
杉野 法広	産科婦人科	科長	35年	産婦人科
木村 和博	眼科	科長	25年	眼科
山下 裕司	耳鼻咽喉科	科長	35年	耳鼻咽喉科
松山 豪泰	泌尿器科	科長	38年	泌尿器科
鈴木 倫保	脳神経外科	科長	40年	脳神経外科
伊東 克能	放射線科	科長	32年	放射線科
田中 秀和	放射線治療科	科長	14年	放射線科
松本 美志也	麻酔科蘇生科	科長	35年	麻酔科
池田 栄二	病理形態学	教授	34年	病理
山崎 隆弘	検査部	部長	33年	臨床検査
鶴田 良介	先進救急医療センター	センター長	29年	救急科
野垣 宏	地域・老年看護学	教授	38年	リハビリテーション科
黒川 典枝	総合診療部	部長	35年	総合診療
三島 克章	歯科口腔外科	科長	30年	歯科口腔外科

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

【検査部】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
環状鉄芽球を伴う骨髓異形成症候群における SF3B1 遺伝子解析	2019/10/2	31
DARA 投与患者に対する 輸血検査での対応	2020/2/12	32
PBS 洗浄時の細胞損失と FBS 残留試験に関する検討 ～BMSC 療法の最終加工物調製について～	2020/2/19	28

【放射線部】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
中国地区放射線治療専門技師講習会	2019/4/18-19	2
診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー	2019/6/8	5
MR クラスルームトレーニング	2019/6/8	2
PET 研修セミナー	2019/7/1	1
CT Basic Classroom Training Dual Source Course	2019/7/7	2
国立大学病院新人研修	2019/7/27	2
ホールボディカウンター計測研修	2019/8/30-9/3	1
第 20 回 MR 入門講座(関西)	2019/10/7	2
第 5 回「原子力災害医療中核人材研修 医療中核人材研修	2019/10/7-11	2
2019 年度支部国際化推進セミナー	2019/10/17	2
第 28 回放射性医薬品取り扱いガイドライン講習会	2019/10/27	1
日本核磁気共鳴医学会 第 41 回 MR 基礎講座	2019/10/30	1
TrueBeam Platform 管理者向けコース	2019/11/9	1
原子力災害防災訓練 研修会	2019/11/19	1
第 23 回中四国 MR ユーザセミナー	2019/11/28	1
第 12 回診療放射線技師 医療安全セミナー	2019/12/3-4	1
2019 年度 実践的放射線治療人育成セミナー	2019/12/9-11	2
原子力災害防災訓練 研修会	2020/2/8	1
第 6 回 MR 医療安全セミナー	2020/2/15	1

【看護部／対象：新人】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
新採用者研修・オリエンテーション	2019/4/1-4	89
”技術演習 感染対策・清潔操作 体位変換・移送・移乗 新人サポート研修 コミュニケーションⅠ	2019/4/6	71
電子カルテシステム	2019/4/8-9	
医療安全に関する研修Ⅰ リスクマネジメントマニュアルを知ろう	2019/4/10	88
内服薬・貼付剤・外用薬の知識	2019/4/10	88
防火訓練	2019/4/15	89
静脈注射 知識編Ⅰ、「静脈注射の基礎知識」	2019/4/16	89

技術演習 輸液管理 輸液ポンプ・シリンジポンプの準備と管理 新人サポート研修 コミュニケーションⅡ	2019/4/20	73
看護記録Ⅰ ～看護記録の基礎～	2019/4/24	84
褥瘡予防ケア	2019/4/24	87
技術演習 静脈血採血 導尿・膀胱留置カテーテルの挿入と管理・浣腸 新人サポート研修 メンタルヘルス	2019/5/11	74
“静脈注射 知識編Ⅱ①「インスリンの知識と管理」”	2019/5/20	92
技術演習 皮下注射・筋肉内注射 吸引・吸入 新人サポート研修 社会人基礎力	2019/5/25	72
2か月目のふりかえり	2019/6/6	88
技術演習 フィジカルアセスメントⅠ	2019/7/3	73
技術演習 経管栄養管理 多重課題シミュレーションⅠ 医療安全に関する研修Ⅱ リスク感性を高めよう:KYT”	2019/7/27	73
技術演習 急変対応を学ぶ	2019/7/31	74
技術演習 静脈留置針の挿入	2019/8/9	71
看護必要度研修(新人編)	2019/8/20	78
静脈注射 知識編Ⅱ②「麻薬・劇薬・毒薬の知識と管理」 「ハイリスク注射薬の知識と管理」”	2019/9/17	86
6か月目のふりかえり	2019/9/27	71
静脈注射 知識編Ⅲ、「抗がん剤の知識と管理」”	2019/10/3	88
医材センター研修	2019/10/9	93
技術演習 心電図モニター・12誘導”	2019/10/11	75
静脈注射 知識編Ⅳ、「輸血の知識と管理」”	2019/10/25	89
看取りの看護 ～逝去時の看護手順～	2019/11/1	77
フォローアップデー	2019/12/4	49
酸素吸入療法と人工呼吸器の基礎知識”	2019/12/16	69
技術演習 多重課題シミュレーションⅡ	2020/1/29	71

【看護部／対象：ラダーⅡを目指す人】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
静脈注射 知識編Ⅴ 静脈注射にまつわるインシデント CV ポートの知識と管理”	2019/5/10	82
フィジカルアセスメントⅡ ～変化を予測した情報収集のためのイグザミネーション～”	2019/7/17 2019/7/30	61
フィジカルアセスメントⅢ ～状態に気づくためのアセスメント～”	2019/8/7 2019/8/28	54
リフレクション ～看護実践を内省する～”	2019/10/30 2019/11/22	52
チーム医療と組織での看護師の役割	2019/11/18	25
看護記録Ⅱ ～看護過程と看護記録～”	2019/12/2	60
メンバーシップ	2020/1/30 2020/2/6	60
看護記録Ⅲ ～看護実践のまとめ方～	2020/2/7	27
組織の中での役割を考える ～チーム活動を促進する～	2020/2/17	27
プリセプター研修②	2019/5/15	45
プリセプター研修③	2020/1/15	38
プリセプター研修①	2020/3/16	47

看護研究①-1	2019/7/1	11
楽しくできる看護研究③	2019/8/27	12
看護研究②	2019/9/18	19
看護研究③	2019/10/21	21
看護研究④	2019/12/18	22
クリティカルケア院内研修	2020/1/7-2/21	23

【看護部／対象：ラダーⅢを目指す人】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
看護研究①-2	2019/7/1	5
論理的な文章の書き方	2019/7/24	27
これからの退院支援①(基礎編)〃	2019/8/2	90
これからの退院支援②(実践編)	2019/11/13	20
ケアにおけるリーダーシップ	2019/9/11	22
看護に活かすナラティブ	2019/11/20	22
臨床指導のスキル	2020/2/12	25

【看護部／対象：ラダーⅣを目指す人】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
《4回シリーズ》		
看護倫理①	2019/9/2	16
看護倫理②	2019/11/7	15
看護倫理③	2019/12/6	13
看護倫理④	2020/2/3	14
組織管理論Ⅰ 組織マネジメント概論、看護実践における倫理	2019/5/29	8
ヘルスケアシステム論Ⅰ 社会保障制度概論、保健医療福祉サービスの提供体制	2019/5/26	8
ヘルスケアシステム論Ⅰ ヘルスケアサービスにおける看護の役割	2019/7/24	8
人材管理Ⅰ 看護チームマネジメント	2019/11/27	35
人材管理Ⅰ 労務管理の基礎知識	2019/9/25	8
人材管理Ⅰ 人材育成の基礎知識	2019/10/29	37
質管理Ⅰ 看護サービスの質管理	2019/12/25	8
資源管理Ⅰ 経営資源と管理の基礎知識、看護実践における情報管理	2019/12/25	8
ファシリテーション	2019/10/7	18
人を育てるとは	2019/12/11	16

【看護部／対象：全看護師】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
2019 看護部の取り組み	2019/4/15 2019/4/16 2019/4/19 2019/4/26	594
静脈注射 技術編Ⅲ CVポート技術演習〃	2019/7/19 2019/10/3 2020/1/16	48
静脈注射 知識編Ⅱ②「麻薬・劇薬・毒薬の知識と管理」 「ハイリスク注射薬の知識と管理」	2019/9/17	10
報告会①	2019/9/20	87
災害医療	2019/10/17	114

第 95 回 院内看護研究発表会	2019/12/7	140
報告会②	2020/2/19	93
院内 ICLS 研修	2019/5/9	9
院内 ICLS 研修	2019/6/11	9
院内 ICLS 研修	2019/7/11	9
院内 ICLS 研修	2019/8/6	9
院内 ICLS 研修	2019/9/12	8
院内 ICLS 研修	2019/10/8	9
院内 ICLS 研修	2019/11/14	9
院内 ICLS 研修	2019/12/10	9
院内 ICLS 研修	2020/1/9	10
院内 ICLS 研修	2020/2/13	9

【看護部／対象：管理者】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
看護管理研修(看護師長) 労務管理	2019/5/20	36
看護管理研修(看護師長) 看護マネジメントリフレクション”	2019/4/27	32
看護管理研修(看護師長) 看護マネジメントリフレクション”	2019/8/30	31
看護管理研修(看護師長) 看護マネジメントリフレクション”	2019/10/31	33
看護管理研修(副看護師長) 副看護師長に期待すること	2019/8/8	57
昇任管理者研修・オリエンテーション	2020/3/16	10

【看護部／対象：その他】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
看護必要度研修	2019/7/22 2019/8/8 2019/8/30	470
褥瘡予防と褥瘡発生後のケア	2019/5/20 2019/9/9 2019/11/11	605

【看護部／対象：看護補助者】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
医療制度の概要及び病院の機能と組織の理解 看護補助者の役割”	2019/4/12	62
医療安全	2019/5/23	67
感染防止対策① ～PPEと環境整備について学ぶ～	2019/7/4	69
技術演習	2019/9/4	46
感染防止対策②	2019/10/4	69
一次救命処置	2019/12/13	65

【薬剤部】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
新人教育研修(講義①病院薬剤師の役割、薬剤部の構成)	2019/4/1	11
新人教育研修(講義②オリエンテーション)	2019/4/1	10
新人教育研修(講義③薬剤部紹介)	2019/4/3	10
新人教育研修(講義④⑤⑥⑦調剤)	2019/4/4、5、8、9	10
新人教育研修(講義⑧注射調剤)	2019/4/10	10
新人教育研修(講義⑨接遇)	2019/4/11	14
新人教育研修(講義⑩⑪⑫注射調剤)	2019/4/12、15、16	10

新人教育研修(講義⑬医療安全)	2019/4/17	10
新人教育研修(講義⑭DI)	2019/4/18	10
新人教育研修(講義⑮薬務)	2019/4/19	10
新人教育研修(講義⑯調剤)	2019/6/10	10
新人教育研修(講義⑰治験)	2019/6/11	10
新人教育研修(講義⑱麻薬)	2019/6/27	10
新人教育研修(講義⑲製剤)	2019/6/28	10
薬物治療勉強会(慢性便秘症)	2019/10/17	11
薬物治療勉強会(抗血栓・血小板療法)	2019/10/24	11
薬物治療勉強会(てんかん)	2019/10/31	11
薬物治療勉強会(喘息)	2019/11/7	11
薬物治療勉強会(がん治療時の支持療法)	2019/11/14	11
薬物治療勉強会(制吐剤)	2019/11/20	11
薬物治療勉強会(高齢者と薬物療法)	2019/11/21	11
薬物治療勉強会(川崎病)	2019/11/28	11
薬物治療勉強会(B型肝炎再活性化予防について)	2019/12/5	11
薬物治療勉強会(関節リウマチ)	2019/12/12	11
薬物治療勉強会(感染症)	2019/12/19	11

② 業務の管理に関する研修の実施状況(任意)

【放射線部】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
医療機関のための放射線安全管理講習会	2019/5/16-17	2
医療放射線安全管理講習会	2019/4/27-28	1
放射性同位元素等取扱施設安全管理担当教職員研修	2019/6/6-7	1
放射線取扱主任者定期講習会	2019/7/26-27	1
医療放射線安全管理講習会	2019/8/3-4	1

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 杉野 法広	
管理担当者氏名	総務課長 古田 尚文 医事課長 石田 恭子	

		保 管 場 所	管 理 方 法	
診療に関する諸記録	事項 規則第二十二 条の三第二項 に掲げる	病院日誌	医学部総務課	紙媒体のカルテは入院、 外来別に1患者1ファ イル方式として、保存整 理している。 2009年9月より順次電子 カルテシステムに移行 し、移行後は電子媒体で 保管している。 診療録の病院外持ち出 しは、原則禁止としてい る。
		各科診療日誌	各診療科	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	診療録センター 医療情報部	
		看護記録	診療録センター 医療情報部	
		検査所見記録	診療録センター 医療情報部	
		エックス線写真	各診療科 放射線部	
		紹介状	診療録センター 医療情報部	
		退院した患者に係る入院期間中 の診療経過の要約及び入院診療 計画書	診療録センター 医療情報部	
病院の管 理及び運 営に関する 諸記録	項に掲げる事項 規則第二十二 条の三第三	従業者数を明らかにする帳簿	医学部総務課	左記保管場所において、 紙媒体・電子データ等で 保管管理している。
		高度の医療の提供の実績	医学部医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価 の実績	医学部総務課 医学部経営企画課	
		高度の医療の研修の実績	医学部総務課	
		閲覧実績	医学部総務課 医学部医事課	
		紹介患者に対する医療提供の実 績	医学部医事課	
		入院患者数、外来患者及び調剤 の数を明らかにする帳簿	医学部医事課	
	一規則第一 条の十一第 一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指 針の整備状況	医療の質・安全管理部	左記保管場所において、 紙媒体・電子データ等で 保管管理している。
		医療に係る安全管理のための委 員会の開催状況	医療の質・安全管理部	
		医療に係る安全管理のための職 員研修の実施状況	医療の質・安全管理部	
		医療機関内における事故報告等 の医療に係る安全の確保を目的 とした改善のための方策の状況	医療の質・安全管理部	

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部	左記保管場所において、紙媒体・電子データ等で保管管理している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医学部総務課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医学部総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器管理センター	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器管理センター	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器管理センター	

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医学部総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医学部総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医学部総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医学部総務課
		医療安全管理部門の設置状況	医学部総務課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医学部医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医学部医事課
		監査委員会の設置状況	医学部総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医学部医事課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医学部医事課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医学部医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務企画部総務課
		職員研修の実施状況	医学部総務課 医学部医事課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医学部総務課
		管理者が有する権限に関する状況	医学部総務課
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	医学部総務課
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	医学部総務課

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 杉野 法広	
閲覧担当者氏名	総務課長 古田 尚文 医事課長 石田 恭子	
閲覧の求めに応じる場所	医学部本館 2階 事務室 外来診療棟 1階 患者相談室	
閲覧の手続の概要		
・ 閲覧申込 閲覧申込書を総務課総務係に提出する ・ 提出先 病院長 ・ 閲覧方法 指定した日時・場所で行う ・ 返納方法 当日返納とし、総務課総務係に返納する		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0 件
閲覧者別	医 師	延	0 件
	歯 科 医 師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： ・ 本院における医療事故防止のための安全管理の取り組みについて ・ 本院における安全管理体制の確保及び推進のため、病院長を委員長とした「医療の質・安全管理委員会」を設置するとともに、医療の質・安全管理委員会の任務を推進し、組織横断的に安全管理を担う「医療の質・安全管理部」を設置することについて ・ 医薬品及び医療機器の安全使用のための責任者として「医薬品安全管理責任者」及び「医療機器安全管理責任者」を置くとともに、医療の質・安全管理委員会、医療の質・安全管理部、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括する「医療安全管理責任者」を置き、病院全体で医療安全に取り組むことについて ・ 全職員を対象として、医療安全に関する研修会を年2回以上開催することについて ・ 院内全死亡事例の報告並びに医療の質・安全管理部及び医療の質・安全管理委員会において全事例の検討を行うことについて ・ 院内で発生したインシデントの報告を受けて、医療の質・安全管理部及び医療の質・安全管理委員会において、内容の調査・分析及び再発防止策の検討を行い、インシデントの概要並びに再発防止策については、リスクマネジャー連絡会議等を通じて院内に啓発を行うことについて ・ 医療事故等発生時の対応に関することについて ・ 患者等が当該指針を閲覧できることについて ・ 患者相談窓口を常設し、患者等からの苦情や相談に応じるための組織や体制等を整備していることについて ・ マニュアルの作成や見直し、診療録等の記録の指導について ・ 高難度新規医療技術を用いた医療の提供について	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
・ 設置の有無（ 有・無 ） ・ 開催状況：年 12 回（毎月1回） ・ 活動の主な内容： 1. 毎月1回定期的に、緊急時はその都度開催し下記について審議する。 (1) 医療の質管理及び改善に関すること。 (2) 医療事故防止に関すること。 (3) 医療訴訟の対策に関すること。 (4) 院内死亡事例に関すること。 2. 医療の質・安全管理部（医療安全管理部門）と連携し、医療の質・安全管理部の企画・立案する病院全体の医療の安全管理について、具体的な実践を指導監督する。 3. 本院のリスクマネジメントマニュアル等の作成や見直し及び診療録等の記入について、関係者に周知して医療事故防止に努め、安全管理を図る。	

4. 医療事故防止のための安全管理に関する教育・研修会等を開催する。

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年 2 回

研修日	対象者	研修内容	講師	参加人数
2019/8/16	全職員	「当院における医療安全管理体制」 「院内死亡事例の検討からみえたこと」 「麻薬および覚せい剤原料取扱いのための運用について」 「平成 30 年度のインシデント報告より」	医師 GRM 医師 GRM 薬剤師 GRM 看護師 GRM	1729 人 (VTR 講習会、DVD 貸し出しを含む)
2019/12/13	全職員	なぜ私たちはダブルチェックをするのか？ ～そのダブルチェック本当に必要ですか～	学外講師	1743 人 (VTR 講習会、DVD 貸し出しを含む)

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (☒ 有 ・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

(インシデント・アクシデント報告の分析・検討)

・ 報告されてくる内容別に「薬剤」、「ドレーン・チューブ」など 9 の項目に分け、その項目をさらに種類別に分け集計を行っている。また、別に職種別の報告件数や患者への影響レベル毎の件数を集計している。

・ 報告の種類別に内容を分析し、報告や検討等を要する事項については、個別に事例分析を行い発生した要因や原因、また再発防止策を提示して医療の質・安全管理委員会、医療の質・安全管理部会議において審議され決定している。リスクマネジャー連絡会議においては決定事項を各部署のリスクマネジャーへ周知するが、再発防止策などの意見を求める場合は、リスクマネジャーを中心に意見を募り医療の質・安全管理部にて検討している。

(院内死亡事例報告の検証)

・ 医療の質・安全管理部で毎日死亡事例を抽出し、速やかにスクリーニングを行う。情報収集した各種データを基に、医療の質・安全管理部会議及び医療の質・安全管理委員会で検証を行い、必要な情報を院内にフィードバックしている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無																							
・ 指針の主な内容： (1) 感染対策に関する基本的考え方 (2) 院内感染対策のための組織に関する基本的事項 (3) 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針 (4) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 (5) 院内感染発生時の対応に関する基本方針 (6) 患者等に対する該当指針の閲覧に関する基本方針 (7) 本病院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針 (8) 感染対策の地域連携に関する基本方針																								
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回																							
・ 活動の主な内容： (1) 感染予防に関すること (2) 感染予防策実施の指導に関すること (3) 感染予防の教育に関すること (4) 職員の職業感染対策に関すること (5) 院内感染の原因調査、経過の追跡、整理及び分析等に関すること (6) 感染制御部の管理及び運営に関すること (7) その他感染対策に関すること																								
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>研修日</th> <th>対象者</th> <th>研修内容</th> <th>講師</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2019/05/13</td> <td rowspan="4">全職員</td> <td rowspan="4">当院における感染対策 ～抗菌薬適正使用支援チームについて～</td> <td rowspan="4">感染制御部 枝國 信貴 河口 義隆</td> <td rowspan="4">1,737 人</td> </tr> <tr> <td>DVD 研修</td> </tr> <tr> <td>2019/05/14</td> </tr> <tr> <td>2019/05/23</td> </tr> <tr> <td>2019/05/24</td> <td rowspan="6">全職員</td> <td rowspan="6">日常診療における基本の感染対策</td> <td rowspan="6">愛媛大学医学部附属病院 感染制御部 部長・田内 久道先生</td> <td rowspan="6">1,695 人</td> </tr> <tr> <td>2020/01/17</td> </tr> <tr> <td>DVD 研修</td> </tr> <tr> <td>2020/01/28</td> </tr> <tr> <td>2020/01/29</td> </tr> <tr> <td>2020/01/31</td> </tr> </tbody> </table>		研修日	対象者	研修内容	講師	参加人数	2019/05/13	全職員	当院における感染対策 ～抗菌薬適正使用支援チームについて～	感染制御部 枝國 信貴 河口 義隆	1,737 人	DVD 研修	2019/05/14	2019/05/23	2019/05/24	全職員	日常診療における基本の感染対策	愛媛大学医学部附属病院 感染制御部 部長・田内 久道先生	1,695 人	2020/01/17	DVD 研修	2020/01/28	2020/01/29	2020/01/31
研修日	対象者	研修内容	講師	参加人数																				
2019/05/13	全職員	当院における感染対策 ～抗菌薬適正使用支援チームについて～	感染制御部 枝國 信貴 河口 義隆	1,737 人																				
DVD 研修																								
2019/05/14																								
2019/05/23																								
2019/05/24	全職員	日常診療における基本の感染対策	愛媛大学医学部附属病院 感染制御部 部長・田内 久道先生	1,695 人																				
2020/01/17																								
DVD 研修																								
2020/01/28																								
2020/01/29																								
2020/01/31																								
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況 ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 収集した各データや問題点を院内感染対策専門部会で検討している。 ・ 対策を検討し必要な項目は、感染対策委員会へ提案し、協議している。																								

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況					有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況					年 28 回
研修日	対象者	研修内容	講師	参加人数	
2019/04/01	医療職員新採用者、研修医	薬剤部の機構と運営「薬剤部の利用について」「医薬品情報・閲覧手順について」「処方箋の取り扱いについて」「麻薬の取り扱いについて」「抗がん剤の取り扱いについて」	副薬剤部長 薬剤主査	127 名	
2019/4/10	新採用看護師	医薬品の基礎知識～内服薬・外用薬～	薬剤主査	88 名	
2019/4/16	新採用看護師	静脈注射に用いる薬剤の基礎知識	薬剤主査	88 名	
2019/6/10	新規採用医師	医薬品に関するルール	薬剤師 GRM	40 名	
2019/6/26	全職員	カンサーボード「高齢者における抗がん剤投与時の注意点」	薬剤主査	29 名	
2019/7/25	研修医（全職員受講可能）	医薬品使用時の安全管理	副薬剤部長	25 名	
2019/7/25	A-11 病棟看護師	点眼指導、麻薬および覚せい剤原料の取り扱いについて	病棟担当薬剤師	19 名	
2019/8/16	全職員	麻薬および覚せい剤原料取扱いのための運用について（予定）	薬剤師 GRM	1549 名	
2019/8/29	B-5 病棟看護師	退院後も患者が確実な内服が出来るように支援を行う方法	病棟担当薬剤師	18 名	
2019/9/17	新人看護師新採用者（全看護師受講可能）	「麻薬・劇薬・毒薬の知識と管理」「ハイリスク注射薬の知識と管理」	副薬剤部長	97 名	
2019/9/25	B-10 病棟 看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	30 名	
2019/9/26	A-12 看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	10 名	
2019/9/27	A-10 病棟 看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	25 名	
2019/10/10	AMEC 看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	36 名	
2019/11/7	A-9 看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	18 名	
2019/11/14	B-6 看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	23 名	
2019/11/21	B-9 看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	18 名	
2019/11/28	B-7E 看護師	麻薬および覚せい剤原料取扱いのための運用について	病棟担当薬剤師	17 名	

2019/11/28	B-4 看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	8 名
2019/11/28	B-5 病棟看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	24 名
2019/12/3	全職員	抗菌薬適正使用について	AST 専従薬剤師	1737 名
2019/12/12	B-4 看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	8 名
2019/12/12	A-7 看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	11 名
2019/12/17	B-8	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	20 名
2019/12/18	A-8 看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	14 名
2020/1/7	全職員	消毒と滅菌	AST 専従薬剤師	1737 名
2020/1/9	A-6, B-6E 看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	55 名
2020/1/15	NICU, GCU 看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	28 名

③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況

- ・ 手順書の作成 (☒ 有 ・ 無)
- ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：
 - 1) 医薬品の採用に関する事項
 - 2) 医薬品の購入・管理に関する事項
 - 3) 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項
 - 4) 患者に対する服薬指導に関する事項
 - 5) 医薬品の安全使用に係る情報の取扱い
 - 6) 病棟、中央診療部門、外来における医薬品の管理
 - 7) 他施設（病院、薬局等）との連携に関する事項
 - 8) 輸血・輸血用血液製剤の取扱い
 - 9) 薬剤投与のための機器使用
 - 10) 放射線医薬品の管理
 - 11) 臨床検査薬の管理
 - 12) 造影剤の管理、使用
 - 13) 院内製剤の取扱い
 - 14) 未承認新規医薬品の使用及び医薬品医療機器等の適応外使用について
 - 15) 当該手順書の遵守状況の確認

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (☒ 有 ・ 無)
- ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：
 - ① 0.2%ピオクタニン（メチルロザニリン）液：口唇裂の手術（形成術および修正術）の際に、切開線の記入および解剖学的基準点の印記。再閉胸に際し、皮膚のトリミングの際のマーキング、組織のデブリードマンの際のマーキング。
 - ② 0.1%アムピゾーム点眼液：角膜における真菌の駆除を目的とする。
 - ③ 1%ブイフェンド点眼液：角膜における真菌の駆除を目的とする。

- ④ 0.5%デノシン点眼液：サイトメガロウイルスによる角膜炎の沈静化を目的とする。
手指消毒用 78.9%エタノール：現在院内採用のヘキサクローション（吉田製薬）の供給が制限されており院内での使用を優先するため外来玄関に設置していたヘキサクローションを撤去した。患者から要望が強く厚労省医薬品当物資班より支給される予定の96%エタノールを院内で78.9%の濃度に製剤し外来患者受付に設置する。

・ その他の改善のための方策の主な内容：

- (1) 医薬品を適正に使用するため、医薬品の安全性情報と患者情報の収集を行う。
- (2) 経過観察が必要な薬剤の投与にあたっては、投与中・投与後の経過観察を継続して行う。
- (3) 薬剤部より月1回「DI EXPRESS」を発行している。
- (4) 処方オーダーなど病院情報システムを利用するものについては、医療情報部と連携し、情報を当該端末機にホームページでお知らせする。
- (5) 心電図検査・心機能検査が求められる医薬品について、リスクに応じて処方時にアラートを表示し、注意喚起している。
- (6) 転倒転落防止のための不眠時指示のフローチャートを作成し、全病棟の配置薬を該当の薬剤に統一している。
- (7) 投与間隔が必要な医薬品処方時にアラートを表示し、注意喚起している。
- (8) 特定薬剤の血中濃度モニタリングを実施する。
- (9) リスクマネージャー連絡会議などを通じて事故防止対策を周知している。
- (10) 注射調剤時には、原則バーコードリーダー承合により、処方薬の正しい交付を確認している。
- (11) 抗がん剤調製は必要に応じて重量鑑査システムを使用し、誤調製を防止している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①	医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無																																																																						
②	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 13 回																																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>研修日</th> <th>対象者</th> <th>研修内容</th> <th>講師</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2019/7/29</td> <td>医師, 看護師, 臨床工学技士</td> <td>血液浄化装置</td> <td>小野寺咲乃</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>2019/10/28</td> <td>医師, 看護師, 臨床工学技士</td> <td>血液浄化装置</td> <td>林田賢樹</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>2019/5/27</td> <td>医師, 看護師, 臨床工学技士</td> <td>人工呼吸器</td> <td>谷山未来也</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>2019/5/29</td> <td>医師, 看護師, 臨床工学技士</td> <td>人工呼吸器</td> <td>和泉樹弥</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>2019/6/19</td> <td>医師, 看護師, 臨床工学技士</td> <td>人工呼吸器</td> <td>今津一峰</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>2019/6/24</td> <td>医師, 看護師, 臨床工学技士</td> <td>人工呼吸器</td> <td>和泉樹弥</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>2019/8/26</td> <td>医師, 看護師, 臨床工学技士</td> <td>人工呼吸器</td> <td>和泉樹弥</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>2019/12/2</td> <td>医師, 看護師, 臨床工学技士</td> <td>人工呼吸器</td> <td>小寺勝大</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>2019/9/30</td> <td>医師, 看護師, 臨床工学技士</td> <td>補助循環装置</td> <td>梅地拓真</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>2020/2/25</td> <td>医師, 看護師, 臨床工学技士</td> <td>補助循環装置</td> <td>和泉樹弥</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>2020/1/28</td> <td>医師, 看護師, 臨床工学技士</td> <td>除細動装置</td> <td>谷山未来也</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>2020/2/25</td> <td>医師, 看護師, 臨床工学技士</td> <td>除細動装置</td> <td>安木康太</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>2019/6/19</td> <td>医師, 看護師, 臨床工学技士</td> <td>閉鎖式保育器</td> <td>吉田哲雄</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table>	研修日	対象者	研修内容	講師	参加人数	2019/7/29	医師, 看護師, 臨床工学技士	血液浄化装置	小野寺咲乃	22	2019/10/28	医師, 看護師, 臨床工学技士	血液浄化装置	林田賢樹	20	2019/5/27	医師, 看護師, 臨床工学技士	人工呼吸器	谷山未来也	23	2019/5/29	医師, 看護師, 臨床工学技士	人工呼吸器	和泉樹弥	22	2019/6/19	医師, 看護師, 臨床工学技士	人工呼吸器	今津一峰	31	2019/6/24	医師, 看護師, 臨床工学技士	人工呼吸器	和泉樹弥	18	2019/8/26	医師, 看護師, 臨床工学技士	人工呼吸器	和泉樹弥	22	2019/12/2	医師, 看護師, 臨床工学技士	人工呼吸器	小寺勝大	9	2019/9/30	医師, 看護師, 臨床工学技士	補助循環装置	梅地拓真	26	2020/2/25	医師, 看護師, 臨床工学技士	補助循環装置	和泉樹弥	20	2020/1/28	医師, 看護師, 臨床工学技士	除細動装置	谷山未来也	46	2020/2/25	医師, 看護師, 臨床工学技士	除細動装置	安木康太	4	2019/6/19	医師, 看護師, 臨床工学技士	閉鎖式保育器	吉田哲雄	31	
研修日	対象者	研修内容	講師	参加人数																																																																				
2019/7/29	医師, 看護師, 臨床工学技士	血液浄化装置	小野寺咲乃	22																																																																				
2019/10/28	医師, 看護師, 臨床工学技士	血液浄化装置	林田賢樹	20																																																																				
2019/5/27	医師, 看護師, 臨床工学技士	人工呼吸器	谷山未来也	23																																																																				
2019/5/29	医師, 看護師, 臨床工学技士	人工呼吸器	和泉樹弥	22																																																																				
2019/6/19	医師, 看護師, 臨床工学技士	人工呼吸器	今津一峰	31																																																																				
2019/6/24	医師, 看護師, 臨床工学技士	人工呼吸器	和泉樹弥	18																																																																				
2019/8/26	医師, 看護師, 臨床工学技士	人工呼吸器	和泉樹弥	22																																																																				
2019/12/2	医師, 看護師, 臨床工学技士	人工呼吸器	小寺勝大	9																																																																				
2019/9/30	医師, 看護師, 臨床工学技士	補助循環装置	梅地拓真	26																																																																				
2020/2/25	医師, 看護師, 臨床工学技士	補助循環装置	和泉樹弥	20																																																																				
2020/1/28	医師, 看護師, 臨床工学技士	除細動装置	谷山未来也	46																																																																				
2020/2/25	医師, 看護師, 臨床工学技士	除細動装置	安木康太	4																																																																				
2019/6/19	医師, 看護師, 臨床工学技士	閉鎖式保育器	吉田哲雄	31																																																																				
③	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況																																																																							
	- 医療機器に係る計画の策定 (有・無) - 機器ごとの保守点検の主な内容: 人工呼吸器、補助循環装置、血液浄化装置の一部を定期点検(外注) 除細動装置、血液浄化装置の一部、輸液ポンプ、シリンジポンプ、経腸栄養ポンプ、 低圧持続吸引器、間歇的空気圧迫装置を定期点検(院内)																																																																							
④	医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況																																																																							
	医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) PMDA、日本医療評価機構より情報収集・院内メールにて周知																																																																							

- ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：
なし
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
不定期にMEだよりを発行

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	☒ 有・無
・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 医療安全管理責任者に「安全・個人情報担当」の副病院長（医師）をもって充て、医療安全管理部門、医療の質・安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者及び医療放射線安全管理責任者を統括している。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	☒ 有（8名）・無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 収集した医薬品情報を3分類（最重要、重要、その他）し、使用患者、処方医等を調査し医薬品安全性情報等を院内メール、院内通知書、DI Express で病院全職員へ周知すると共に、「最重要」、「重要」の項目については各病棟担当薬剤師が追加説明等を行う体制を構築している。周知確認は、重要度にあわせて署名者を指定（全職員又は関連職員）するなどし、薬剤部 DI センターで関連書類を管理している。昨年度は、「最重要」に該当した「ページニオ錠」による重篤な間質性肺疾患に関する安全性速報に対し、院内全職員の周知確認の署名を回収し、「重要」に該当した「ザンタック注射液」の発がん性物質検出に伴う自主回収（クラスⅠ）に対し、処方医師の周知確認の署名を回収した。 ・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 未承認等医薬品を使用する診療科は新規医療審査室の審査を受ける。医薬品の適応外・禁忌使用については、病棟薬剤業務及び薬剤部セントラル業務を通じて把握を行い、医師が「医薬品の適応外等使用に係る申請書」により新規医療審査室に申請する。申請書をもとにリスク分類（A、B、C）し、リスクAは未承認新規及び適応外等医薬品評価委員会での審査・事後検証・患者への文書説明と同意取得、リスクBは必要に応じて評価委員会での審査・事後検証を実施し、患者への文書説明と同意取得、リスクCは患者への口頭説明と同意取得（診療録に記録）を原則とすることとしている。また、医薬品の禁忌使用の把握については、薬剤部の調剤支援システム（禁忌チェックシステム）を利用している。 ・担当者の指名の有無（☒有・無） ・担当者の所属・職種： （所属：医療の質・安全管理部、職種：薬剤師）（所属：薬剤部 DI センター、職種：薬剤師）	

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	☒ 有・無
・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (☒有・無) ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容： 診療情報管理士による侵襲性の高い診療行為（手術等）の点検を行い、診療録等に関する委員会にて報告し是正を勧告している。また、多職種で参加する院内ケアプロセス調査においても、記載内容等について改善指導を行っている。	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	☒ 有・無
・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 診療録等の量的及び質的点検 ⇒診療情報管理士による点検業務を行っている。 診療録等の質的監査 ⇒一連のプロセス（入院から退院まで）を、患者へのアプローチや適切な記録が記載されているかを多職種の視点で確認し、問題点等を指摘し改善することで、診療録等の適切な記載や医療の質向上へつなげる『院内ケアプロセス調査』を実施している。（1診療科／月）	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	☒ 有・無
・所属職員：専従（5）名、専任（2）名、兼任（14）名 うち医師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（5）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名 うち看護師：専従（3）名、専任（0）名、兼任（5）名 うち診療放射線技師：専従（0）名、専任（0）名、兼任（1）名 うち臨床検査技師：専従（0）名、専任（0）名、兼任（1）名 うち事務：専従（0）名、専任（1）名、兼任（1）名 （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること ・活動の主な内容： (1) 医療の質・安全管理委員会の議事録作成及び庶務に関すること。 (2) 医療の質・安全管理委員会から提案された業務の実施に関すること。 (3) 医療事故及びインシデント報告の分析並びに再発防止策の検討及び提言に関すること。 (4) 医療事故防止策の実施状況の必要に応じた調査及び防止策の見直し・立案に関すること。 (5) 院内死亡事例の検証に関すること。 (6) 医療の安全管理に係る企画・立案及び広報並びに啓蒙・啓発に関すること。	

- (7) リスクマネジャーとの連絡調整に関すること。
- (8) 医療の安全管理に係る教育・研修に関すること。
- (9) 他の委員会に対する勧告案の作成に関すること。
- (10) 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認等に関すること。
- (11) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況についての確認等に関すること。
- (12) 事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認等に関すること。
- (13) 医療の質・安全管理部会議に出席し、インシデントや医療事故防止に関して検討する。
- (14) その他医療安全対策の推進に関すること。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。
 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 2 件）、及び許可件数（ 2 件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：

申請内容の確認、及び当該医療技術の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ、当該医療技術の提供の適否等を決定し、申請を行った診療科長等に対してその結果を通知する。また、当該医療技術が適正な手続に基づいて提供されていたかどうかに関し、モニタリングし、その内容を病院長、医療の質・安全管理委員会等に対して報告する。
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（ 6 件）、及び許可件数（ 6 件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）

・活動の主な内容：

申請内容の確認、及び当該未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等について意見を求め、その意見を踏まえ、当該未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等を決定し、申請を行った診療科長等に対してその結果を通知する。また、当該未承認新規医薬品等が適正な手続に基づいて提供されていたかどうかに関し、モニタリングし、その内容を病院長、医療の質・安全管理委員会等に対して報告する。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（☒有・無）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（☒有・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 187 件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 96 件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

毎月1回の定例会議において、医療安全管理部門から前々月分の院内死亡事例の検証結果についての報告を受けて、医療事故調査制度への報告の判断等について検討を行う。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（☒有（病院名：名古屋市立大学病院）・無）

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（☒有（病院名：信州大学医学部附属病院）・無）

・技術的助言の実施状況

1. 機械的かつ客観的なオカレンス事例の掌握

手術に関するオカレンスについて、一部項目は手術部に協力を得て、客観的に事例把握を行う。

医療の質・安全管理部でも電子カルテデータを用いて客観的に把握することとした。

2. 速やかな死亡事例の確認

退院サマリの提出を待たず、死亡事例を医事システムより毎日抽出し、確認することとした。

3. 未使用・適応外のモニタリングの体制は整備されているが、薬剤師 GRM の負担が大きい。

未使用・適応外のモニタリング体制は薬剤師 GRM の負担を軽減できるよう、体制を今後も検討を行う。

4. 高難度新規医療技術申請が2例にとどまっている。

再度院内で周知をはかる。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

院内に患者相談窓口を設置しており、患者相談対応マニュアルに順次、医療安全・医療事故に関して医療の質・安全管理部で対応している。また、患者相談窓口で受けた相談のうち、医療安全・医療事故に関する相談は医療の質・安全管理部に報告され、内容によっては、医療の質・安全管理委員会に報告し、対応する。緊急を要する場合は、即時病院長に報告する。

また、週に一度の患者サポート対応カンファレンスに参加し、情報を共有している。

⑫ 職員研修の実施状況

研修日	対象者	研修内容	講師	参加人数
2019/4/1	新人看護師	「新採用者オリエンテーション：病院でのリスクマネジメント」	看護師 GRM	93 人
2019/6/10	新規（中途）採用医師	「医薬品に関わるルール」 「当院の医療安全体制とその実際」	学内講師	79 人 (VTR 講習会、DVD 貸し出しを含む)
2019/6/20	研修医	みんなで創る医療安全	医師 GRM	14 名
2019/8/16	全職員	「当院における医療安全管理体制」 「院内死亡事例の検討からみえたこと」 「麻薬および覚せい剤原料取扱いのための運用について」 「平成 30 年度のインシデント報告より」	学内講師	1729 人 (VTR 講習会、DVD 貸し出しを含む)
2019/12/13	全職員	なぜ私たちはダブルチェックをするのか？ ～そのダブルチェック本当に必要ですか～	学外講師	1743 人 (VTR 講習会、DVD 貸し出しを含む)
2019/4/10	新人看護師	「リスクマネジメントマニュアルを知る」 「内服薬・貼付薬・外用薬の知識」 「服薬管理の看護基準」	看護師 GRM 薬剤部 GRM 看護師 GRM	88 人
2019/4/16	新人看護師	「安全対策と事故防止」 「静脈注射に必要な解剖生理と合併症」 「静脈注射に用いる薬剤の基礎知識」	看護師 GRM 医師 GRM 薬剤部 GRM	89 人
2019/7/27	新人看護師	「KYT（危険予知トレーニング）」	看護師 GRM	76 人
2019/10/25	新人看護師	「輸血の知識と管理」	医師 GRM	93 人 (VTR 講習、を含む)
2019/5/23	看護助手・クラーク	「医療安全」	看護師 GRM	67 人 (VTR 講習、を含む)
2019/5/10	全看護師	「CVポートの知識と管理～注射にまつわるインシデントから学ぼう～」	医師 GRM	70 人

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

日本医療機能評価機構が実施する「2019 年度特定機能病院管理者研修」に、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者が参加し、医療に係る安全管理のための研修を受講した。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
- 基準の主な内容 山口大学医学部附属病院長選考規則において、「(1)臨床研修等修了医師である者、(2)病院の管理運営に必要な資質及び能力を有する者、(3)教育、研究及び診療に必要な資質及び能力を有する者、(4)医療の安全の確保のために必要な資質及び能力を有する者」として規定し、詳細は病院長選考基準に定めることとしている。 - 基準に係る内部規程の公表の有無 (☒ 有 ・ 無) - 公表の方法 山口大学ホームページに掲載

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有 ・ 無			
- 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (有 ・ 無) - 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (有 ・ 無) - 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (有 ・ 無) - 公表の方法				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
				有 ・ 無
				有 ・ 無
				有 ・ 無
				有 ・ 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無		☒ 有・無	
・合議体の主要な審議内容 病院の予算及び経営に関する事項、規則の制定及び改廃に関する事項、その他病院の管理運営に関する事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 病棟医長等が出席する病院連絡協議会において周知している。また、会議資料、議事概要を学内ウェブページに掲載し、従業者が閲覧できる環境を設けている。 ・合議体に係る内部規程の公表の有無（☒有・無） ・公表の方法 山口大学ホームページに掲載 ・外部有識者からの意見聴取の有無（有・☒無）			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
篠田 晃			医学部長
坂井田 功		医師	第一内科長
矢野 雅文		医師	第二内科長
谷澤 幸生		医師	第三内科長
神田 隆		医師	神経内科長
中川 伸		医師	精神科神経科長
長谷川 俊史		医師	小児科長
松永 和人		医師	呼吸器・感染症内科長
濱野 公一		医師	第一外科長
永野 浩昭		医師	第二外科長
坂井 孝司		医師	整形外科長
下村 裕		医師	皮膚科長
高須 啓之		医師	形成外科長
松山 豪泰		医師	泌尿器科長
木村 和博		医師	眼科長
山下 裕司		医師	耳鼻咽喉科長
伊東 克能		医師	放射線科長
田中 秀和		医師	放射線治療科長
杉野 法広	○	医師	病院長、産科婦人科長
松本 美志也		医師	麻酔科蘇生科長
(空 席)			脳神経外科長
三島 克章		歯科医師	歯科口腔外科長
山崎 隆弘		医師	検査部長

鶴田 良介		医師	先進救急医療センター長
黒川 典枝		医師	総合診療部長
石田 博		医師	医療情報部長
高崎 彰久		医師	医療の質・安全管理部長
北原 隆志		薬剤師	薬剤部長
星井 嘉信		医師	病理診断科長
伊藤 浩史		医師	遺伝・ゲノム診療部長
白澤 文吾		医師	医学教育学講座教授 (その他病院長が必要と認めた者)
原田 美佐		看護師	看護部長
川村 篤		事務職員	事務部長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 公表の方法
大学ウェブページに掲載
- ・ 規程の主な内容
病院長が有する人事に関する権限として、山口大学医学部附属病院規則において、診療科長、診療施設の部長等及び企画・管理部門の部長等に関する任命及び解任について規定している。
病院長が有する予算執行権限として、国立大学法人山口大学財務会計規則及び国立大学法人山口大学予算単位及び予算責任者取扱要項において、各予算単位に予算責任者を置くこととし、医学部附属病院の予算責任者として医学部附属病院長を規定している。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
副病院長5名を配置し、総務・広報、経営・企画、診療、教育、研究、医療連携、人事・労務、安全・個人情報管理及び患者サービスに関する事項を分掌している。病院の管理運営等に関し病院全体の立場に立ち企画、立案を行い、病院長に提言する者として病院長補佐3名を配置している。
また、病院の経営改善対策に関する事項等、病院運営審議会から委託された事項を審議する代議員会として、病院長、副病院長、病院長補佐、薬剤部長、看護部長及び事務部長を構成員とする病院戦略会議を設置している。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
病院の執行部として、副病院長は病院運営審議会の委員のうちから病院長が指名し、病院運営審議会の議を経て、学長に推薦し任命され、病院長補佐は病院運営審議会において選出することにより、管理運営に精通するよう適切な人事を行っている。
研修については、国立大学附属病院長会議等が主催する「病院長塾」、次世代の病院執行部を担う人材育成を目的とした「病院経営次世代リーダー養成塾」に病院長、副病院長が参加し、管理運営に関する研修を受けている。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況					☒ 有・無
・ 監査委員会の開催状況：年2回 ・ 活動の主な内容： （1）医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務の状況について管理者等から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施する。 （2）必要に応じ、本院の開設者又は管理者に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明する。 （3）（1）、（2）に掲げる活動について、その結果を公表する。 ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（☒有・無） ・ 委員名簿の公表の有無（☒有・無） ・ 委員の選定理由の公表の有無（☒有・無） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（☒有・無） ・ 公表の方法：大学ウェブページに委員名簿及び選定理由を掲載					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
河村 康明	山口県医師会	○	医療に係る安全管理に関する専門的知識を有するため	有・ ☒ 無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
大田 明登	大田明登法律事務所		法律に関する識見を有するため	有・ ☒ 無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
玉田 英生	宇部興産株式会社		医療を受ける者の代表者	有・ ☒ 無	2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・体制の整備状況及び活動内容
国立大学法人山口大学内部監査室が、年度計画書に基づき定期監査を実施している。2019
度は、保有個人情報等の管理状況、情報セキュリティ対策の実施状況について監査を実施した。
- ・専門部署の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・内部規程の整備の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・内部規程の公表の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・公表の方法
山口大学ホームページに掲載

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 学長、理事、副学長、医学部附属病院長及び学外委員により構成する経営協議会において、法人の中期計画・中期目標、年度計画、予算、決算及び業務実績について審議している他、医学部附属病院の経営実績及び経営計画について審議している。 ・ 会議体の実施状況（ 年5回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ ☒有・無 ）（ 年2回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ ☒有・無 ） ・ 公表の方法 山口大学ホームページに掲載			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：国立大学法人山口大学経営協議会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
岡 正朗	山口大学長	○	☒ 有・無
古賀 和利	山口大学理事・副学長		☒ 有・無
田中 和広	山口大学理事・副学長		☒ 有・無
小坂 慎治	山口大学理事・副学長		☒ 有・無
松野 浩嗣	山口大学理事・副学長		☒ 有・無
上西 研	山口大学理事・副学長		☒ 有・無
七村 守	山口大学理事		☒ 有・無
根ヶ山 徹	山口大学副学長		☒ 有・無
谷澤 幸生	山口大学副学長		☒ 有・無
進士 正人	山口大学副学長		☒ 有・無
杉野 法広	山口大学副学長・医学部附属病院長		☒ 有・無
鍋山 祥子	副学長		☒ 有・無
安達 秀樹	株式会社トクヤマ 取締役		☒ 有・無
今村 孝子	山口県医師会 副会長		☒ 有・無
岩田 幸雄	山口放送株式会社 代表取締役会長		☒ 有・無
梅本 裕英	株式会社山口フィナンシャルグループ取締役副社長 ワイエム証券(株) 取締役社長		☒ 有・無
川上 康男	株式会社 長府製作所代表取締役会長		☒ 有・無
鎌田 積	一般財団法人日本開発構想研究所 シニアアドバイザー		☒ 有・無
小松 一彦	山口県副知事		☒ 有・無
齋藤 宗房	山口トヨタ自動車株式会社 代表取締役社長		☒ 有・無

	テレビ山口株式会社 代表取締役社長		
桜井 博志	旭酒造株式会社 会長		有・無
下村 輝夫	福岡工業大学長		有・無
末永 久大	弁護士法人末永法律事務所 弁護士		有・無
竹下 道夫	宇部興産株式会社 顧問		有・無
原山 優子	前内閣府 総合科学技術・イノベーション会議常勤議員 東北大学名誉教授		有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況

- ・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 通報件数（年〇件）
- ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 周知の方法：職員ハンドブックに掲載

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	☒ 有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構 2020年3月6日付で「病院機能評価（機能種別版評価項目3rdG：Ver. 2.0） 一般病院3」に認定	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	☒ 有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 ホームページ、SNS、広報誌等の広報媒体を通して、情報を発信している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	☒ 有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 他科とのコンサルテーションを実施している。	